

東大阪市下水道事業関係 発掘調査概要報告

— 平成20年度 —

2009. 3

東大阪市教育委員会

東大阪市下水道事業関係 発掘調査概要報告

— 平成20年度 —

2009 . 3

東大阪市教育委員会

例 言

1. 本書は、東大阪市教育委員会文化財課が、東大阪市建設局下水道部の委託を受け、平成19年12月～平成20年11月末日まで実施した公共下水道管きょ築造工事などに伴う埋蔵文化財調査の概要報告である。
2. 本書には河内寺跡・浄土寺谷古墳群・山畑古墳群・縄手遺跡・神並古墳群・客坊山遺跡群・鬼塚遺跡・芝ヶ丘遺跡・花草山古墳群・岩滝山遺跡・楽音寺遺跡・西の口遺跡・馬場川遺跡・辻子谷古墳群・芝坊主山遺跡・池島・福万寺遺跡・岩田遺跡・出雲井遺跡群・みかん山古墳群の概要を収録した。
3. 現場は才原金弘・武田雄志・成瀬光一・佐藤由美・松田直子、遺物整理は現場担当者がおこない、報告の分担は各章の表に記した。
4. 本書に収録した現場写真は、各担当者が撮影し、遺物はエイチ・エス写真技術株式会社に委託して実施した。
5. 土色名に数字が入っているものは、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に準じている。
6. 土層断面柱状図の深さは現場地表面が0 mである。
7. 調査の実施にあたっては、東大阪市上下水道局下水道部のご協力のもと、施工業者ならびに近隣市民の方々のご協力を賜った。これらの方々に記して感謝いたします。

目 次

第1章	平成20年度の下水道関係調査について	1
第2章	河内寺跡の第17次調査	4
第3章	浄土寺谷古墳群の調査	13
第4章	山畑古墳群の調査	15
第5章	縄手遺跡の調査	17
第6章	山畑古墳群の調査	19
第7章	客坊山遺跡群の調査	21
第8章	鬼塚遺跡の調査	23
第9章	芝ヶ丘遺跡の調査	25
第10章	神並古墳群の調査	27
第11章	花草山・山畑古墳群の調査	29
第12章	花草山古墳群の調査	31
第13章	岩滝山遺跡の調査	33
第14章	楽音寺・西の口・馬場川遺跡の調査	35
第15章	山畑古墳群の調査	37
第16章	花草山古墳群の調査	39
第17章	花草山古墳群の調査	41
第18章	辻子谷古墳群の調査	43
第19章	芝坊主山遺跡の調査	45
第20章	池島・福万寺遺跡の調査	47
第21章	岩田遺跡の調査	49
第22章	出雲井遺跡群の調査	51
第23章	河内寺跡の調査	53
第24章	鬼塚遺跡の調査	55
第25章	みかん山古墳群の調査	57

第1章 平成20年度の下水道関係調査について

下水道管理設工事に伴う発掘調査を平成11年度より東大阪市教育委員会が実施しており、10年が経過した。下水道工事はほとんどが東地区を中心におこなわれた。

今年度の調査件数及び調査内容の概略は下記の調査一覧表に記した。調査にあたり下水道部と文化財課で協議したが、今年度も工事は道幅の狭い旧集落内や道路の迂回路が確保できない場所が多く立会調査が中心になった。また、交通量の問題から夜間工事になり、調査を断念した遺跡もある。

今年度の調査では河内寺跡より古墳時代～中世期の遺物が出土した。当地点は塔・金堂・回廊などの寺伽藍が発見されているところより東に位置する。寺院が営まれていた時期の遺物も含まれている。これらの遺物は寺に関連したものと思われる。

今回の収録した調査は平成19年12月1日より平成20年11月30日までに終了したものを対象とし、それ以後のものは次年度に報告することにした。

平成20年度下水道工事に伴う埋蔵文化財の調査一覧表

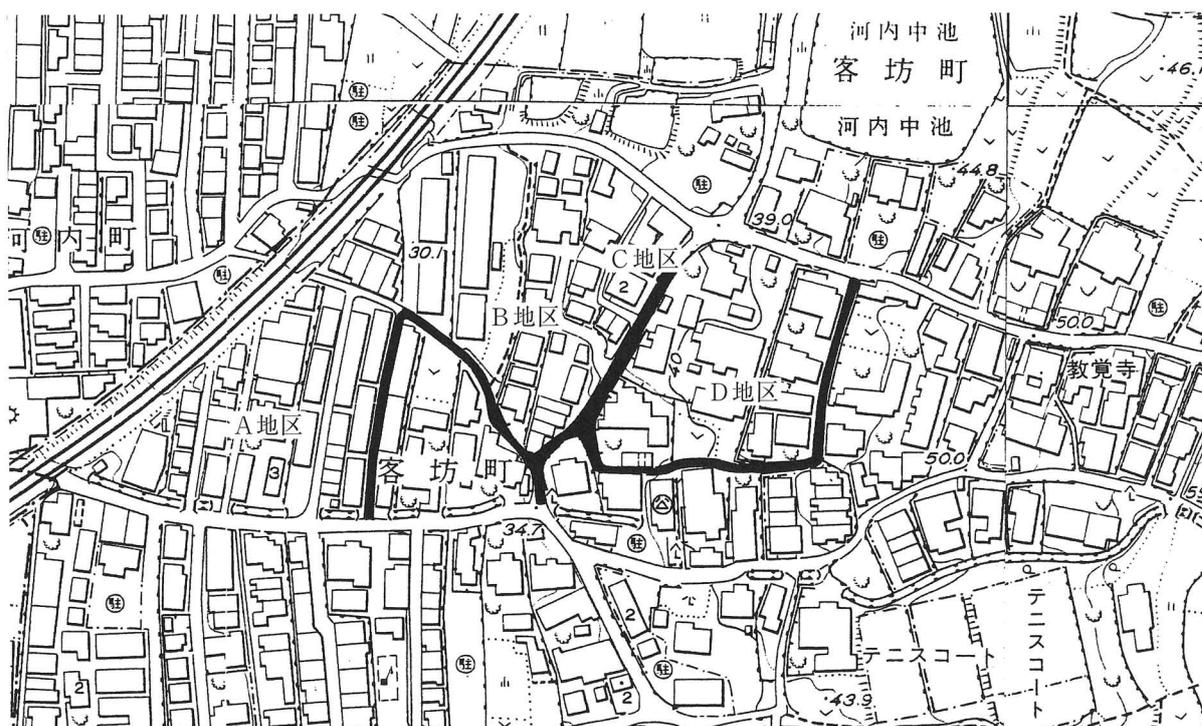
平成20年11月30日

	届出番号	下水番号	遺跡名	届出の工事名称	調査場所	調査	調査期間	調査結果・所見
1	17-226	下事84	豊浦谷古墳群、暗峠越奈良街道	平成16年度公共下水道第50工区管きよ築造工事	東豊浦町843～1175	立会	20.11.26～	調査中。
2	18-369	下事154	河内寺跡	平成18年度公共下水道第11工区管きよ築造工事	客坊町697～1163	立会	19.9.6～20.10.7	第2章で報告。
3	18-371	下事169	浄土寺谷古墳群	平成18年度公共下水道第12工区管きよ築造工事	横小路町1丁目13～27	立会	19.6.6～20.3.20	第3章で報告。
4	19-102	下事179	山畑古墳群	平成18年度公共下水道第202工区管きよ築造工事	上四条町1546、1593-1、2016-3、4	立会	19.8.1～20.3.31	第4章で報告。
5	19-372	下事789	縄手遺跡	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(2-1)	南四条町779-3～779-5	立会	20.1.22～20.2.20	第5章で報告。
6	19-373	下事785	神並古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(上石切町1丁目地区)	上石切町1丁目1219-1～1222	立会		平成19年10月17日受付
7	19-374	下事813	山畑古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(4-3)	上四条町1719-1、1720-2	立会	19.12.4～19.12.26	第6章で報告。
8	19-395	下事878	客坊山遺跡群	平成18年度公共下水道第20工区管きよ築造工事	客坊町1078～1083	立会	19.11.12～19.12.27	第7章で報告。
9	19-440	下事440	鬼塚遺跡	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(2-5)	箱殿町459-8、466-6	立会	20.2.18～20.2.19	第8章で報告。
10	19-441	下事947	和泉遺跡	平成18年度公共下水道第5工区管きよ築造工事	中石切町5丁目2458	立会	19.12.12～	調査中。
11	19-442	下事948	芝ヶ丘遺跡	平成19年度公共下水道第103工区管きよ築造工事	中石切町4丁目2010-1～2027-1	立会	20.7.14～20.7.25	第9章で報告。
12	19-490	下事1026	神並古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(東石切町3丁目地区)	東石切町3丁目1086-2～1166-2	立会	20.3.21～20.3.27	第10章で報告。
13	19-493	下事1057	花草山・山畑古墳群	平成19年度公共下水道第105工区管きよ築造工事	上四条町1290-4	立会	20.4.8～20.5.21	第11章で報告。
14	19-494	下事1056	花草山古墳群	平成19年度公共下水道第23工区管きよ築造工事	上四条町1399-2～1435、2096～2101	立会	20.3.17～20.7.25	第12章で報告。

	届出番号	下水番号	遺跡名	届出の工事名称	調整場所	調査	調査期間	調査結果・所見
15	19-564	下事70	浄土寺谷古墳群	平成19年度公共下水道第22工区管きよ築造工事	六万寺町1丁目314-21～27他	慎重		工事実施。
16	19-565	下事99	岩滝山遺跡	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(2-7)	六万寺町1丁目796-3～5、838-5、862-3	立会	20.4.14 ～ 20.4.25	第13章で報告。
17	20-21	下事305	楽音寺・西の口・馬場川遺跡	平成19年度公共下水道第24工区管きよ築造工事	横小路町3丁目1517-4～横小路町4丁目1429-5	立会	20.5.1 ～ 20.8.15	第14章で報告。
18	20-22	下事306	山畑古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(6-5)	四条町328-1・2・5、483-4	立会	20.11.17 ～ 20.11.19	第15章で報告。
19	20-23	下事329	花草山古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(3-4)	上四条町1142～1144	立会	20.9.22 ～ 20.10.7	第16章で報告。
20	20-24	下事333	花草山古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(5-6)	上四条町1118、1119、1120-1・2	立会	20.5.1 ～ 20.5.15	第17章で報告。
21	20-36	下事338	辻子谷古墳群	平成19年度公共下水道第108工区管きよ築造工事	上石切町2丁目1426-1	立会	20.7.14 ～ 20.8.22	第18章で報告。
22	20-37	下事340	芝坊主山遺跡	平成19年度公共下水道第112工区管きよ築造工事	東石切町6丁目1672-94	立会	20.7.14 ～ 20.8.22	第19章で報告。
23	20-76	下事444	池島福万寺遺跡	平成19年度公共下水道第11工区管きよ築造工事	池島町6丁目90-1他	立会	20.6.2 ～ 20.6.27	第20章で報告。
24	20-97	下事483	岩田遺跡	平成19年度公共下水道第203工区管きよ築造工事	岩田町4丁目526-4、530-11	立会	20.6.12 ～ 20.8.11	第21章で報告。
25	20-154	下事617	出雲井遺跡群	平成19年度公共下水道第201工区管きよ築造工事	出雲井町437-2、3、4、438	立会	20.10.21 ～ 20.11.10	第22章で報告。
26	20-187	下事707	河内寺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(6-1)	客坊町708-1、712、713	立会	20.9.9 ～ 20.10.7	第23章で報告。
27	20-188	下事718	鬼塚遺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(4-3)	箱殿町277-4	立会	20.10.3	第24章で報告。
28	20-237	下事770	みかん山古墳群	平成19年度公共下水道管きよ築造工事(6-3)	東豊浦町992-3他	立会	20.11.6 ～ 20.11.27	第25章で報告。
29	20-238	下事809	鬼虎川遺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(5-1)	弥生町1340-3～1371-3	慎重		工事実施。
30	20-239	下事810	山畑古墳群	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(5-3)	上四条町413-6～415-10	立会		調査中。
31	20-240	下事824	市尻遺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(4-2)	瓢箪山町269-2、四条町602-2・4	立会		平成20年9月18日受付
32	20-241	下事839	額田山古墳群	平成20年度公共下水道第101工区管きよ築造工事	山手町1955-14他	立会		平成20年9月18日受付
33	20-289	下事895	五合田遺跡	平成20年度公共下水道第102工区管きよ築造工事	末広町820-26他	立会		平成20年10月16日受付
34	20-290	下事930	鬼塚遺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(1-4)	立花町153-3他	慎重		工事実施。
35	20-304	下事967	善根寺遺跡	平成年度公共下水道第工区管きよ築造工事	善根寺1丁目774-1	立会		平成20年10月24日受付
36	20-305	下事968	芝ヶ丘遺跡	平成年度公共下水道第工区管きよ築造工事	北石切町2214-1他	立会		平成20年10月24日受付
37	20-318	下事1004	鬼虎川遺跡	平成20年度公共下水道管きよ築造工事(6-3)	弥生町1363-12他	立会		平成20年11月6日受付

かわちでら
第2章 河内寺跡の第17次調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成18年度公共下水道第11工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市客坊町697～1163
3	調 査 面 積	58㎡
4	調 査 期 間	平成19年9月6日～20年10月7日(延べ134日)
5	報 告 担 当	松田
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は縄手東小学校の南東である。当地点は河内寺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ69mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図 (1/2500)

1. 調査の概要

調査地は便宜上A～D地区に分け、A地区より調査を開始した。A・C地区の一部は遺跡範囲外にあたる。A・B地区で遺物が出土した。D地区の工事は途中で中止になった。

2. 層序

A-3地区

- 第1層 盛土。
- 第2層 オリーブ黒色(7.5Y3/1)中粒砂。
- 第3層 暗灰色(N3/0)小礫混じり粘土。
- 第4層 オリーブ黒色(5Y3/1)細粒砂混じり粘質シルト。
- 第5層 黒色(10Y2/1)小礫混じり粘土。

B-2地区

- 第1層 盛土。
- 第2層 オリーブ黒色(5Y3/1)中粒砂混じりシルト。
- 第3層 黒色(7.5Y2/1)細粒砂混じり粘質シルト。

B-7地区

- 第1層 盛土。
- 第2層 黒褐色(2.5Y3/2)粗粒砂混じり粘質シルト。5～10cm大の礫を含む。

B-12地区

- 第1層 盛土。
- 第2層 黒色(5Y2/1)粗粒砂混じり粘質土。5～20cm大の礫を含む。

C-9地区

- 第1層 盛土。
- 第2層 オリーブ黒色(5Y3/1)粗粒砂混じりシルト。10cm大の礫を含む。
- 第3層 黒褐色(2.5Y3/1)シルト質粘土。

3. 出土遺物

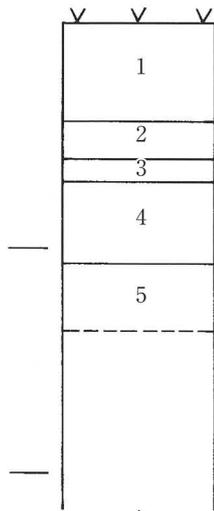
今回の調査では、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、製塩土器が出土した。細片が多く、図化できたのは27点である。瓦器碗は大和型を川越俊一氏編年、和泉型を尾上実氏編年『概説 中世の土器・陶磁器』1995年を参考にした。

須恵器(1～5)

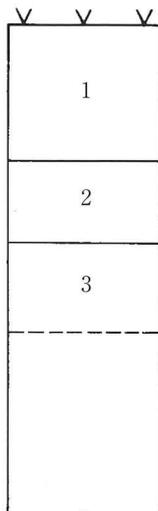
1・2は杯蓋である。1は天井部がやや丸みを帯びる。稜は小さく突出する。口縁部は直線的に立ち上がる。口縁端部は内傾する段を持つ。内外面は回転ナデ調整する。焼成は硬質である。口径は14.0cm、稜径は13.6cm、残存高は3.8cmを測る。6世紀前半のものである。B-1地区より出土した。2は天井部が低く平らである。口縁端部は内側へ肥厚し、面を持つ。内外面は回転ナデ調整する。焼成はやや軟質である。口径は19.6cm、残存高は1.9cmを測る。8世紀後半～9世紀前半のものである。B-3地区より出土した。

3・4は杯身である。3は立ち上がり内傾する。受部は外上方へ伸びる。口縁端部は内傾する段を持つ。内外面は回転ナデ調整する。焼成は硬質である。口径は12.4cm、立ち上がり高は1.8cm、受部径は14.8cm、残存高は4.0cmを測る。6世紀前半のものである。B-1地区より出土した。4は口縁部がわずかに外反する。口縁端部は丸く終わる。内外面は回転ナデ調整する。焼成は硬質である。口径は12.0cm、残存高は3.2cmを測る。8世紀のものである。B-2地区より出土した。

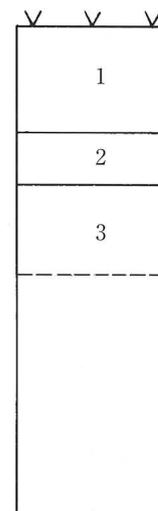
A-3地区



B-2地区

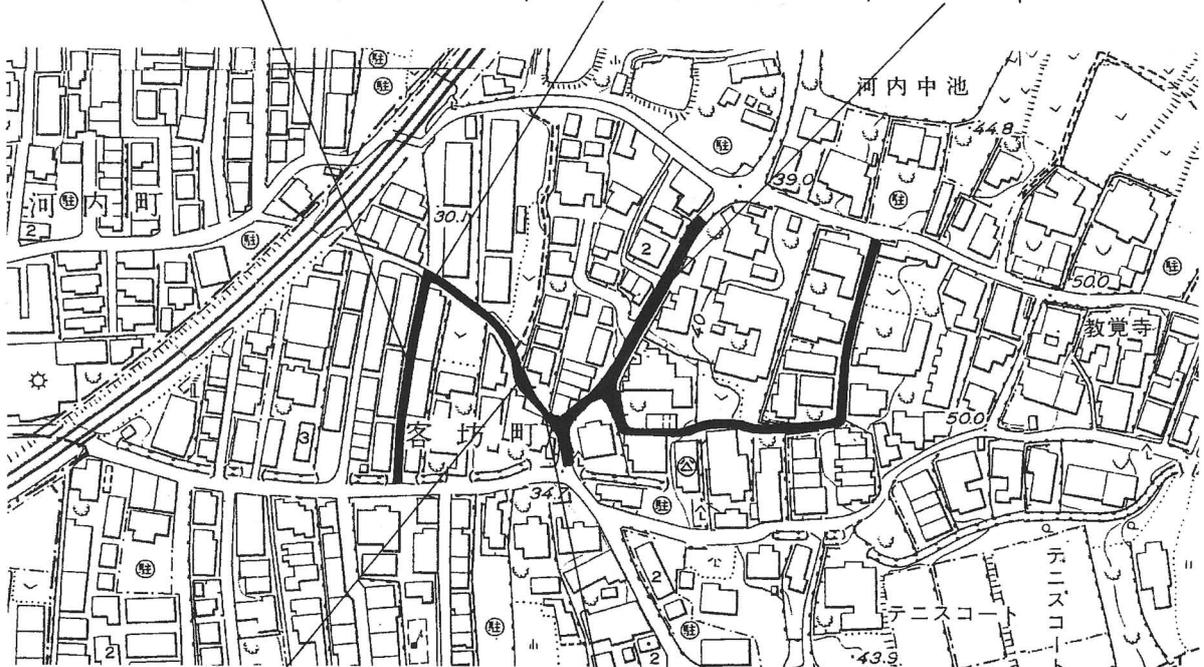


C-9地区

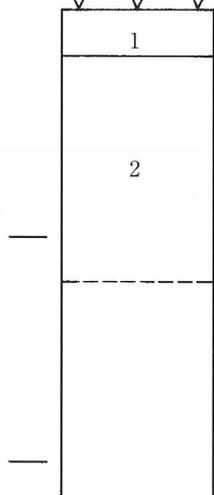


1m

2m



B-7地区



B-12地区



1m

2m

土層断面柱状図

5は甕である。口縁端部は欠損するが、外側に折り返し丸く終わる形状となる。口縁部内面に長さ3.2～3.5cm、幅0.3cmの線状のヘラ記号を2本施す。内面は口縁部をヨコナデ調整する。体部は同心円の当て具痕が残る。外面はタタキ調整の後、ヨコナデ調整する。焼成は軟質である。口径は15.4cm、残存高は3.3cmを測る。6世紀前半～中頃のものである。B-3地区より出土した。

土師器(6～15)

6・7は杯である。6は口縁部が外上方へ立ち上がる。口縁端部は内側に肥厚し、丸く終わる。内面は斜放射状暗文を施す。外面は口縁部をヨコナデ調整する。体～底部は指オサエ調整する。口径は15.6cm、残存高は2.9cmを測る。8世紀中頃のものである。B-5地区より出土した。7は口縁部が外上方へ立ち上がる。口縁端部はやや尖り気味に終わる。内外面はナデ調整する。口径は15.6cm、残存高は2.7cmを測る。8世紀後半～9世紀前半のものである。A-1地区より出土した。

8～13は皿である。8は口縁部が短く直立する。口縁端部は丸く終わる。内面はヨコナデ調整する。外面は口縁部を二段ナデ調整する。底部は指オサエ調整する。口径は14.3cm、残存高は2.0cmを測る。11世紀後半～12世紀初頭のものである。B-12地区より出土した。9～13の口縁端部は、やや尖り気味に終わるもの(9・12・13)、わずかに外反するもの(10)、丸く終わるもの(11)がある。内面と口縁部外面はヨコナデ調整する。底部外面は指オサエ調整する。9は口径が11.4cm、残存高は1.5cmを測る。10は口径が11.0cm、残存高は1.6cmを測る。11は口径が9.0cm、残存高は1.5cmを測る。12は口径が8.0cm、残存高は1.4cmを測る。13は口径が7.2cm、残存高は1.5cmを測る。13世紀のものである。9はB-2地区、10・11はB-12地区、12はA-5地区、13はA-8地区より出土した。

14は甕である。口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。口縁端部は面を持つ。内外面はハケメ調整する。口径は24.0cm、残存高は4.0cmを測る。8世紀のものである。A-5地区より出土した。

15は羽釜である。鍰部は短く伸びる。端部は丸く終わる。内面はナデ調整する。外面はヨコナデ調整する。鍰部径は23.7cm、残存高は5.5cmを測る。12世紀後半～13世紀前半のものである。B-7地区より出土した。

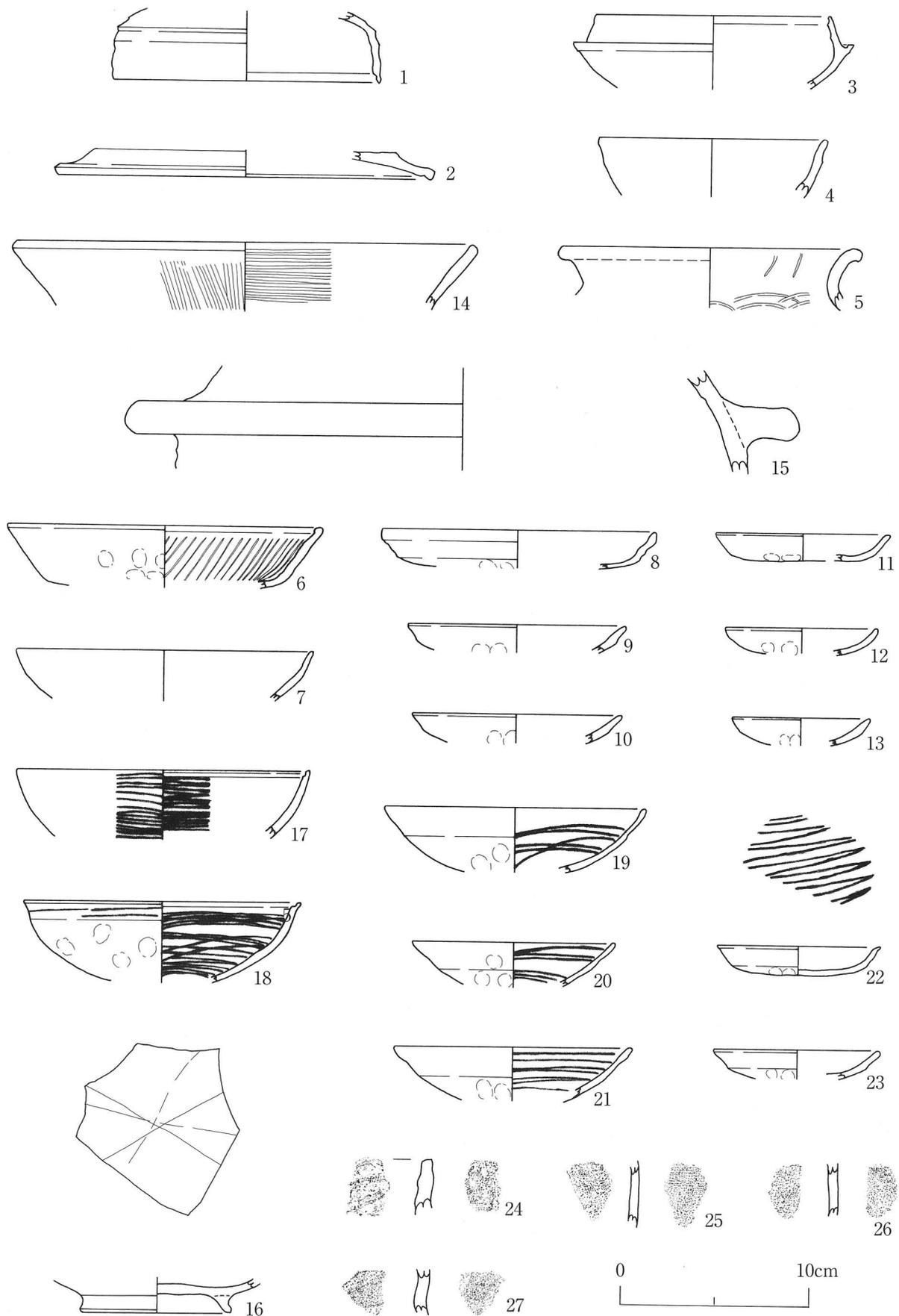
黒色土器(16)

内黒の椀である。底部内面には焼成後に施された4条の線刻がみられる。高台は高い三角形を呈する。内面はナデ調整する。外面は高台をヨコナデ調整する。底部は指オサエ調整する。底径は7.8cm、残存高は1.9cmを測る。9世紀のものである。B-12地区より出土した。

瓦器(17～23)

17～21は椀である。17・18は大和型である。17は口縁部が内湾気味に立ち上がる。口縁端部内面に1条の沈線を廻らせる。内外面は密なヘラミガキ調整する。焼成は硬質である。口径は15.4cm、残存高は3.7cmを測る。川越編年のⅡ-A～B期に相当する。12世紀前半～中頃のものである。B-2地区より出土した。18は口縁部がわずかに外反する。口縁端部内面に1条の沈線を廻らせる。内面は密なヘラミガキ調整する。外面は口縁部をヨコナデ調整の後、粗いヘラミガキ調整する。体部は指オサエ調整する。焼成は硬質である。口径は14.5cm、残存高は4.3cmを測る。川越編年のⅢ-A～B期に相当する。12世紀後半～13世紀前半のものである。B-12地区より出土した。

19～21は和泉型である。口縁部は緩やかに外上方へ立ち上がる。口縁端部は丸く終わる。内面はヘラミガキ調整する。外面は口縁部をヨコナデ調整する。体部は指オサエ調整する。破片が小さいため、見込み部の暗文の有無はわからない。19・21は焼成が軟質、20は硬質である。19は口径が13.6cm、残存高は3.5cmを測る。20は口径が10.6cm、残存高は2.4cmを測る。21は口径が12.4cm、残存高は2.8cmを測る。尾上編年のⅣ-2～3期に相当する。13世紀中頃～後半のものである。19・21はB-7地区、



出土遺物実測図

20はB-8地区より出土した。

22・23は皿である。22は口縁部が緩やかに外上方へ立ち上がる。口縁端部はわずかに外反する。内面は口縁部をヨコナデ調整する。見込み部は7回以上のジグザグ状暗文を施す。外面は口縁部をヨコナデ調整する。底部は指オサエ調整する。焼成は硬質である。口径は8.5cm、残存高は1.6cmを測る。13世紀前半～中頃のものである。B-12地区より出土した。23は口縁部が外上方へ立ち上がる。口縁端部は丸く終わる。内面と口縁部外面はヨコナデ調整する。底部外面は指オサエ調整する。焼成は軟質である。口径は8.6cm、残存高は1.6cmを測る。13世紀中頃～後半のものである。B-7地区より出土した。

製塩土器(24～27)

24は口縁部が残る。厚手のものである。口縁端部は面を持つ。内外面は指オサエ調整する。残存高は3.0cmを測る。25～27は体部が残る。薄手のものである。内外面はナデ調整する。25は残存高が3.5cmを測る。26は残存高が2.7cmを測る。27は残存高が2.5cmを測る。奈良～平安時代のものである。B-7地区より出土した。

4. まとめ

河内寺跡は、現在までに16次にわたる調査が行われ、伽藍の全体像が明らかになりつつある。第11次調査では塔跡が検出され、現状保存を目的とした公有化が進められた。

今回の調査地は遺跡の南東端に位置する。調査地の北約50mには第5次調査地が近接する。この調査では、古墳時代の遺物包含層、奈良時代末～平安時代初頭の遺構、鎌倉時代末の遺物を確認している。

A・B地区で古墳時代後期と奈良～平安時代前期、鎌倉時代の遺物が出土した。すべて掘削土からの採集であり、土層観察地点で明確な遺物包含層は確認できなかった。古墳時代後期の遺物はB-2地区の前後で出土が目立つ。第5次調査で示されているように、周辺に寺院創建以前の集落が広がることが考えられる。奈良～平安時代前期と鎌倉時代の遺物は、特にB地区全体で多く確認されている。当該期の遺物包含層が周辺に広がる可能性が高い。



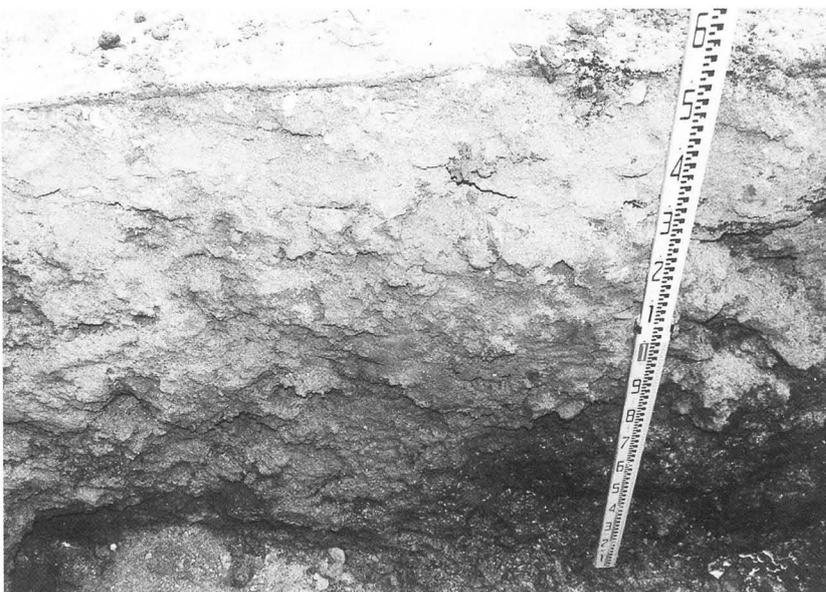
B地区調査地遠景



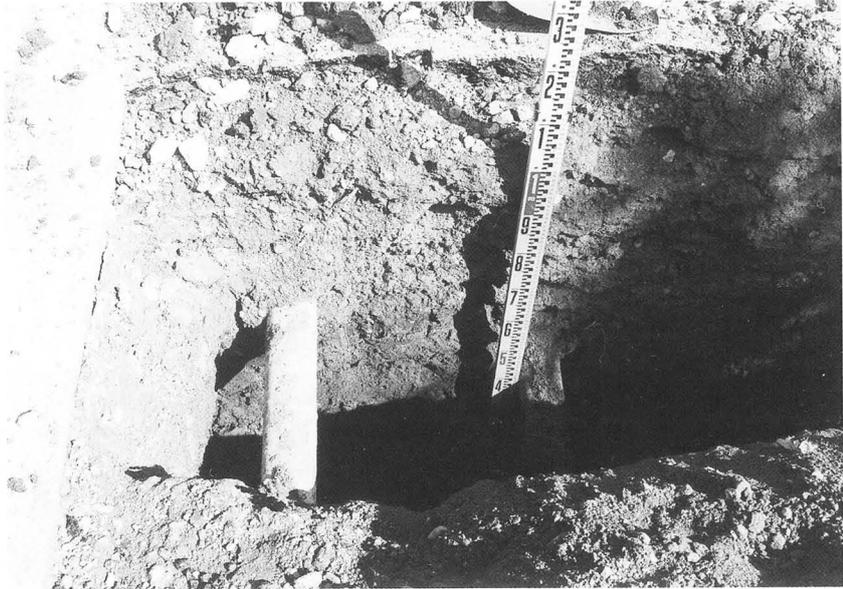
B-2地区土層断面



B-7地区土層断面



B-12地区土層断面



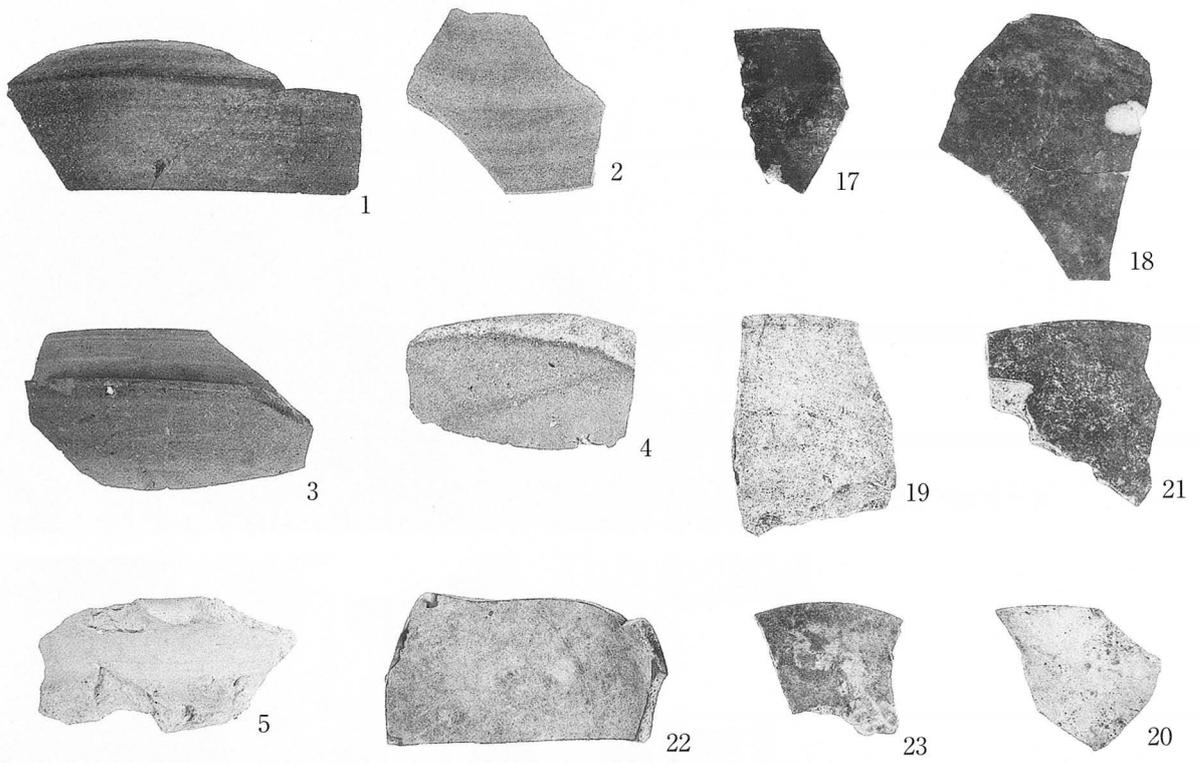
A-8地区土層断面



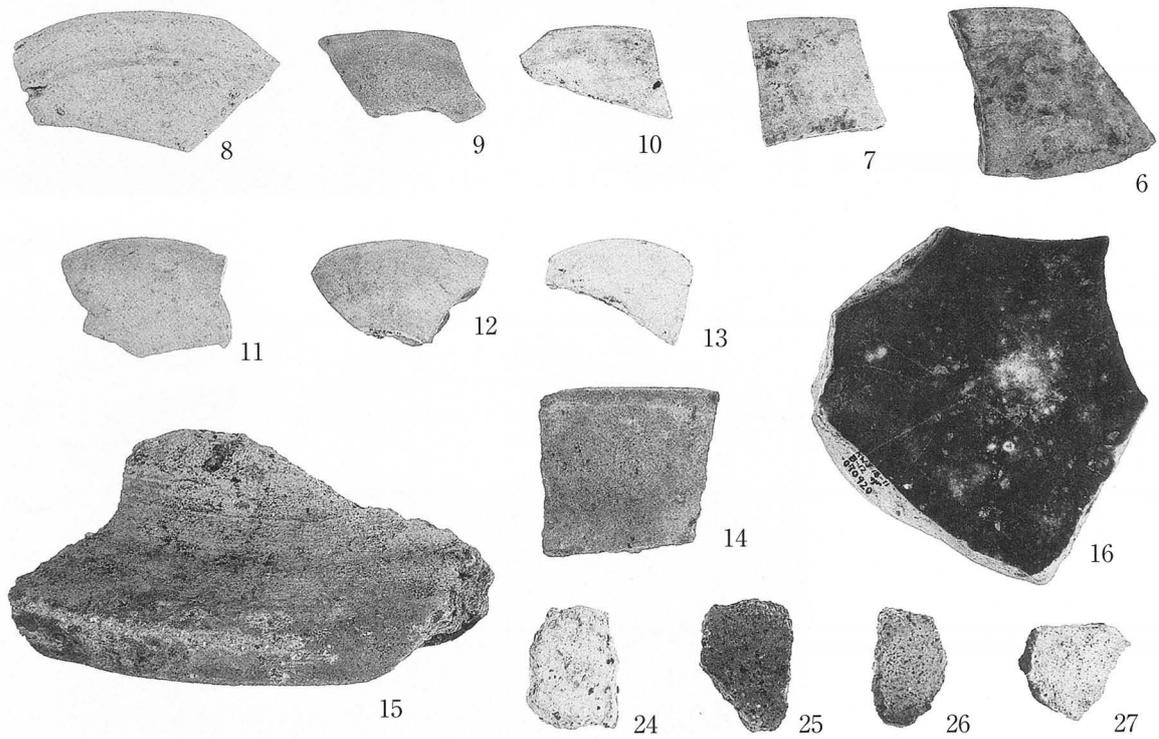
C地区調査状況



C-9地区土層断面



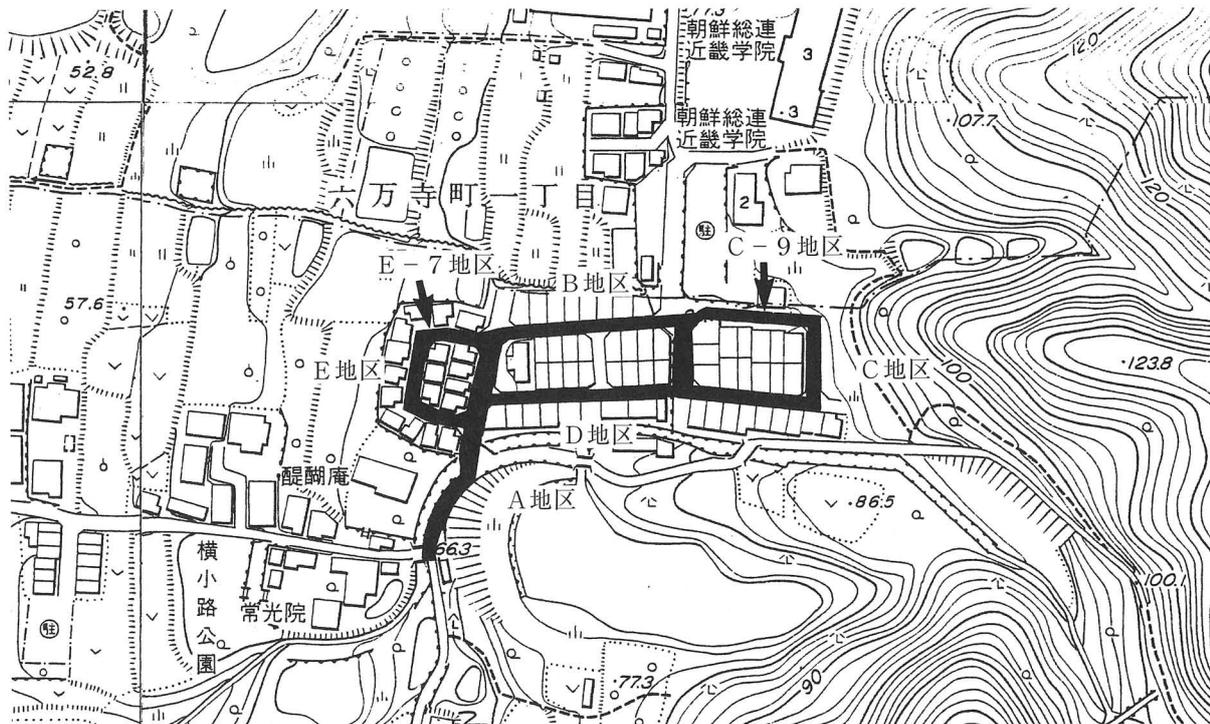
出土遺物（須恵器・瓦器）



出土遺物（黑色土器・土師器・製塩土器）

じょうどじだに 第3章 浄土寺谷古墳群の調査

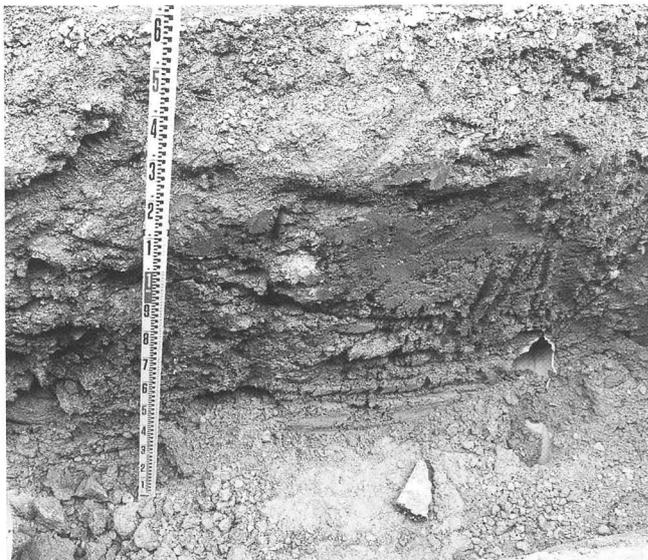
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成18年度公共下水道第12工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市横小路町1丁目13～27番地
3	調 査 面 積	315㎡
4	調 査 期 間	平成19年6月6日～20年3月20日（延べ107日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は縄手南中学校の北東である。当地点は内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ362mの間であり、開削工法である。



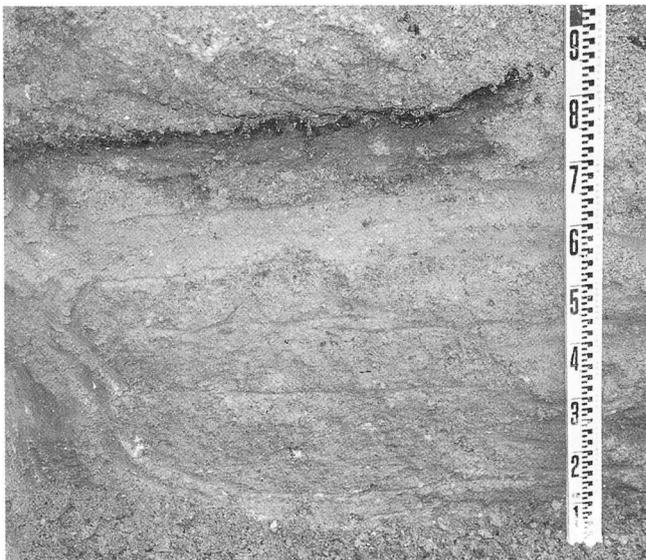
調査地点位置図 (1/2500)



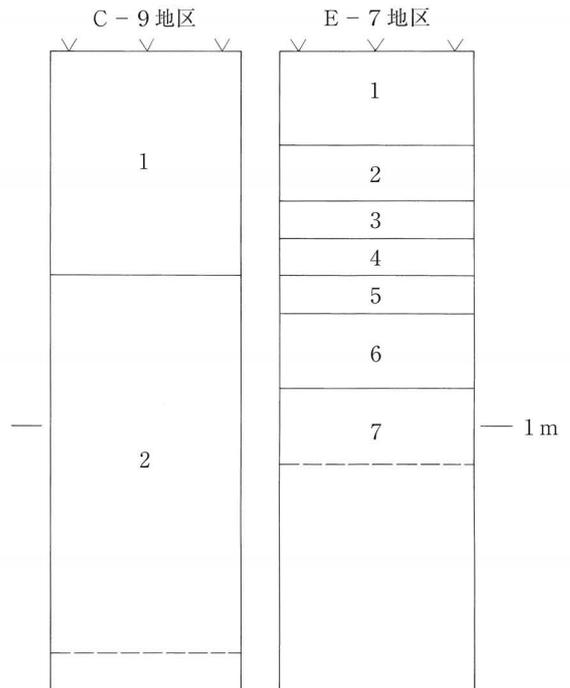
C地区調査地遠景



C-9地区土層断面



E-7地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

C-9地区の層序

第1層 盛土。

第2層 灰黄褐色(10YR4/2)シルト。

E-7地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黒色(10YR2/1)細粒砂混じりシルト。

第3層 黒褐色(2.5Y3/1)細粒砂混じりシルト。

第4層 暗褐色(10YR3/3)粗粒砂混じりシルト。

第5層 黒褐色(10YR3/2)シルト。

第6層 暗黄褐色(10YR4/2)粗粒砂混じりシルト。

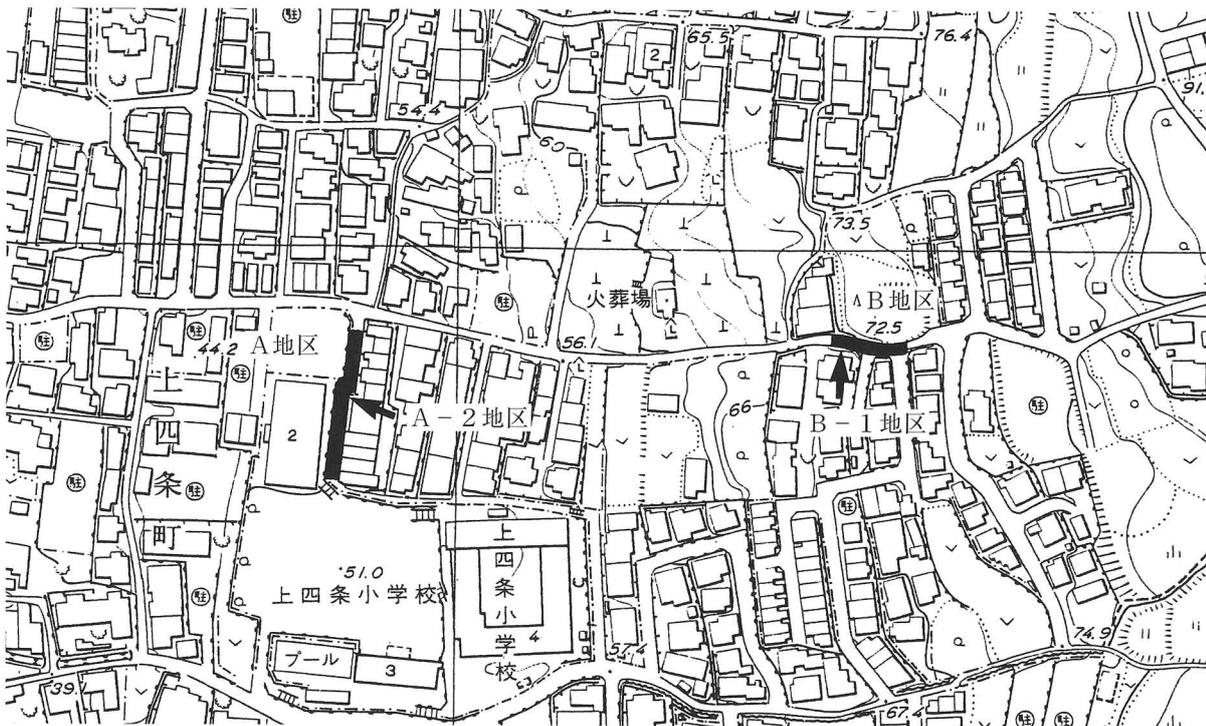
第7層 にぶい黄褐色(10YR4/3)細粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

やまはた 第4章 山畑古墳群の調査

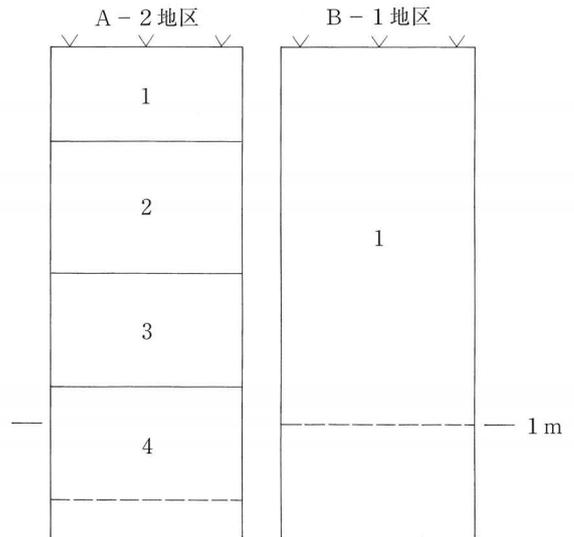
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成18年度公共下水道第202工区管きよ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市上四条町1546、1593-1、2016-3、4番地
3	調 査 面 積	64㎡
4	調 査 期 間	平成19年8月1日～20年3月31日（延べ103日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は上四条小学校の北である。当地点は山畑古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ75mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/2500)



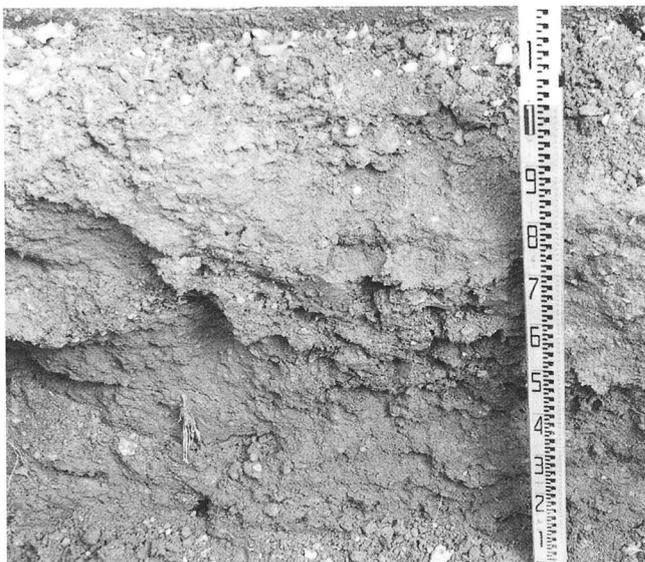
A地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-2地区土層断面



B-1地区土層断面

1. 調査の概要

A-2地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黄灰色(2.5Y4/1)粗粒砂混じり
シルト。

第3層 暗褐色(10YR3/3)礫混じり粘質
シルト。

第4層 黒褐色(2.5Y3/2)粗粒砂混じり
シルト。

B-1地区の層序

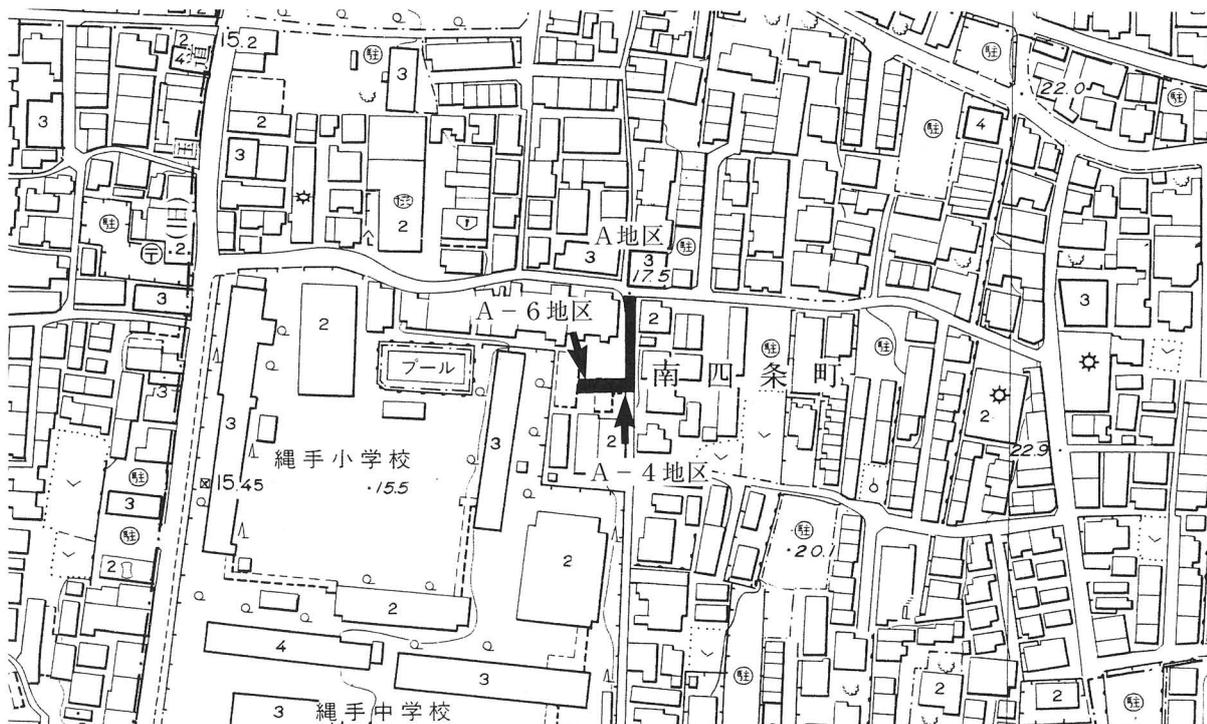
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第5章 なわて 縄手遺跡の調査

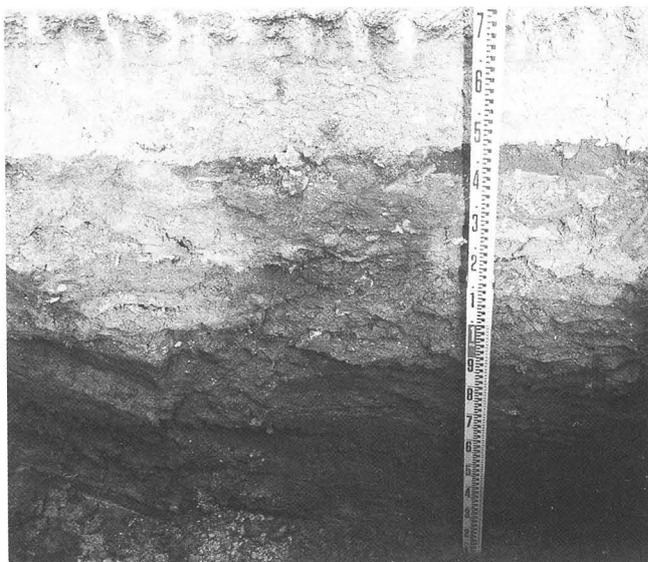
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（2-1）
2	調 査 地 点	東大阪市南四条町779-3～779-5番地
3	調 査 面 積	47m ²
4	調 査 期 間	平成20年1月22日～2月20日（延べ15日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は縄手小学校の東である。当地点は縄手遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ52mの間であり、開削工法である。</p>



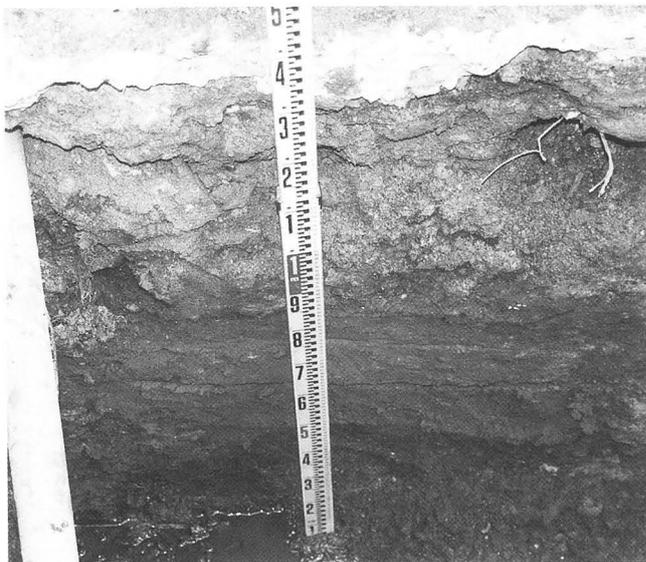
調査地点位置図（1/2500）



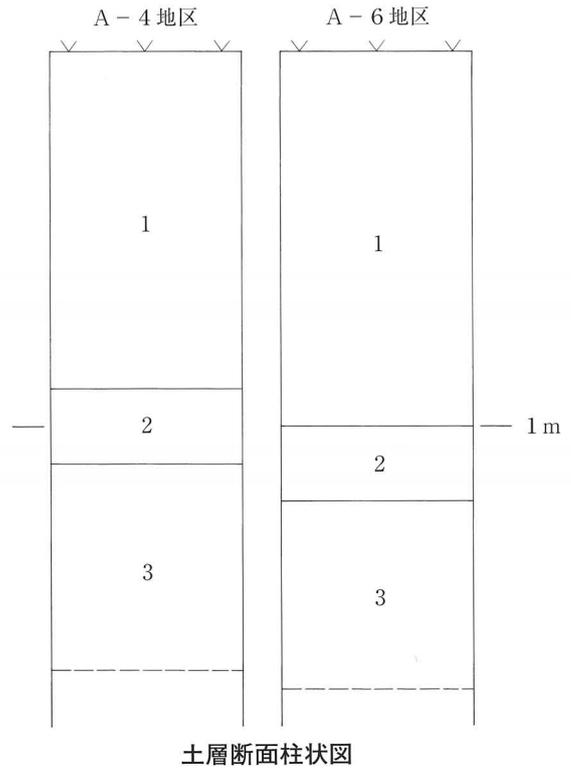
A 地区調査地遠景



A-4 地区土層断面



A-6 地区土層断面



1. 調査の概要

A-4 地区の層序

- 第1層 盛土。
- 第2層 暗緑灰色(5G3/1)細～中粒砂混じりシルト。
- 第3層 黒色(N2/0)細粒砂混じりシルト。

A-6 地区の層序

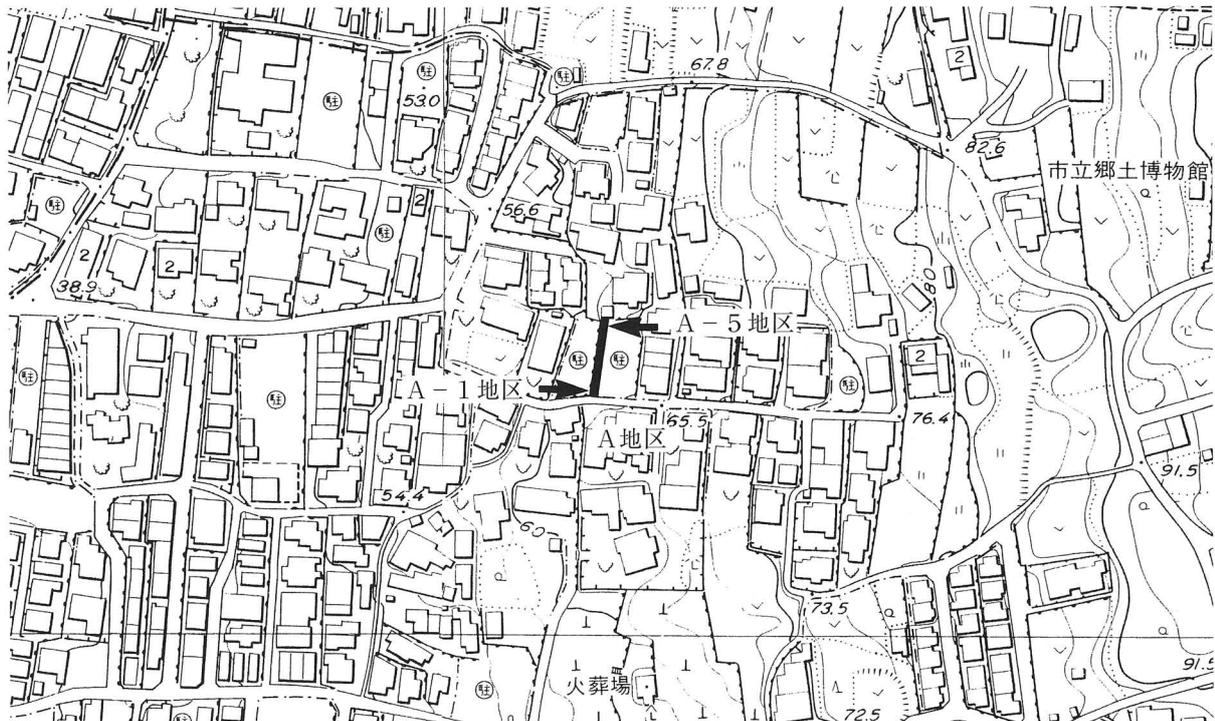
- 第1層 盛土。
- 第2層 暗緑灰色(5G3/1)細粒砂混じりシルト。
- 第3層 黒色(N2/0)細～中粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

やまはた 第6章 山畑古墳群の調査

名	称	内 容
1	事業名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（4-3）
2	調査地点	東大阪市上四条町1719-1～1720-2番地
3	調査面積	40㎡
4	調査期間	平成19年12月4日～12月26日（延べ14日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は上四条小学校の北である。当地点は山畑古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ47mの間であり、開削工法である。</p>



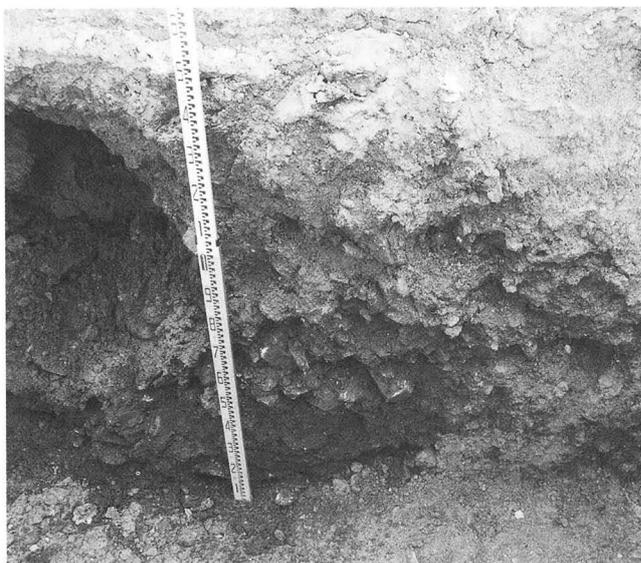
調査地点位置図（1/2500）



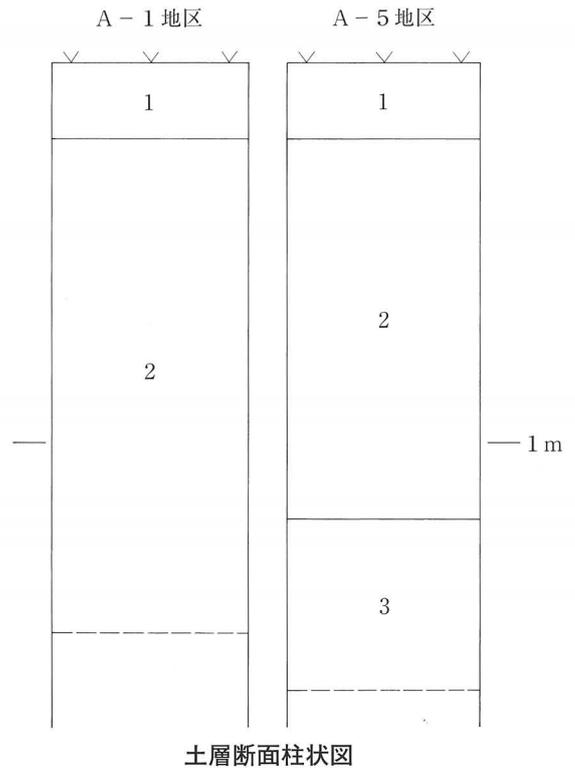
A 地区調査地遠景



A-1 地区土層断面



A-5 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黒褐色(10YR3/1)小礫混じり粘土。

A-5 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黒褐色(10YR3/1)小礫混じり粘土。

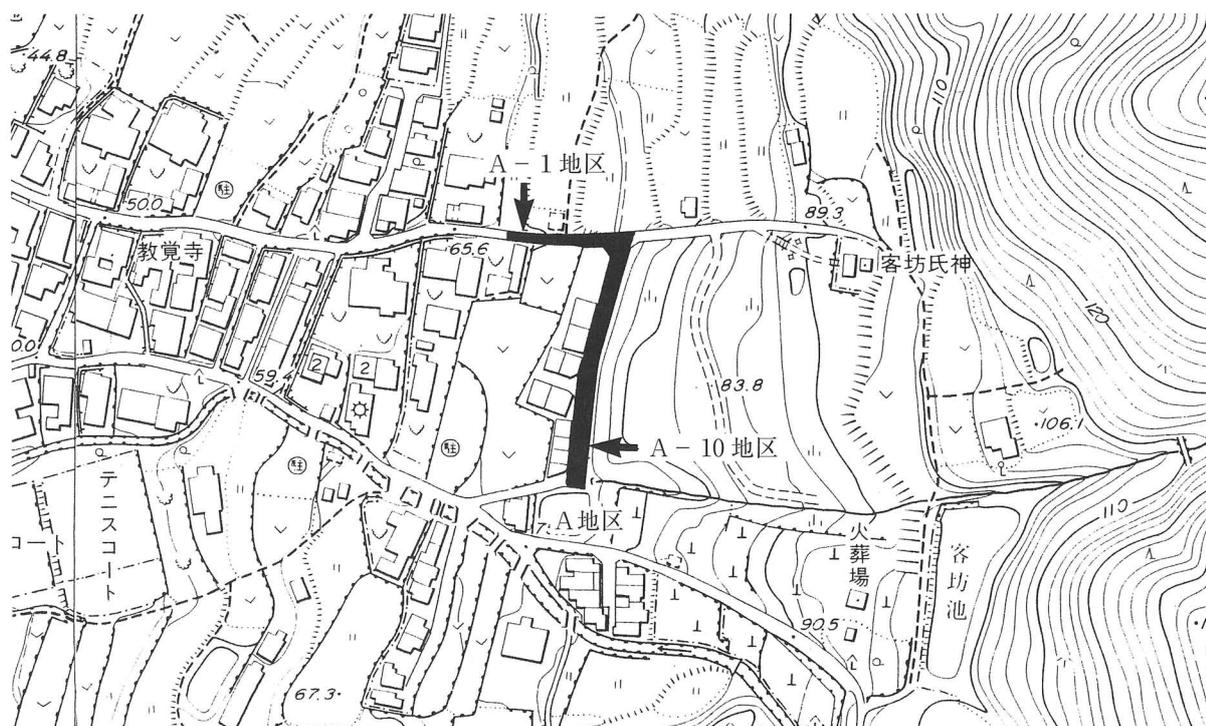
第3層 オリーブ褐色(2.5YR3/3)粗粒砂混じりシルト

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第7章 きやくぼうやま 客坊山遺跡群の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成18年度公共下水道第20工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市客坊町1078～1083番地
3	調 査 面 積	113㎡
4	調 査 期 間	平成19年11月12日～12月27日（延べ15日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は東大阪市郷土博物館の北である。当地点は客坊山遺跡群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ133mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/2500)



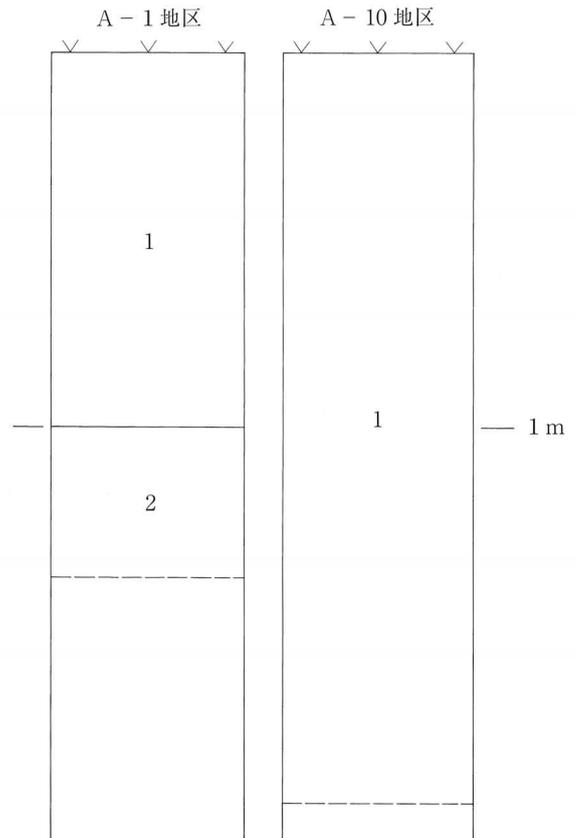
A 地区調査地遠景



A-1 地区土層断面



A-10地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 オリーブ黒色(5Y3/2)礫混じり砂質土。

A-10地区の層序

第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

おにつか 第8章 鬼塚遺跡の調査

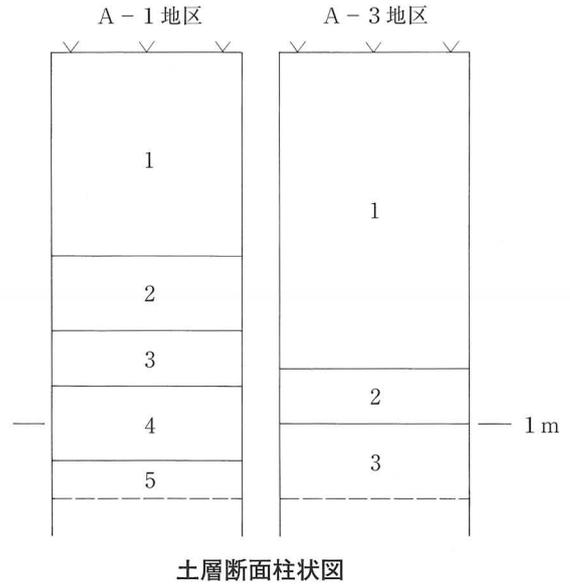
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（2-5）
2	調 査 地 点	東大阪市箱殿町459-8、466-6番地
3	調 査 面 積	9㎡
4	調 査 期 間	平成20年2月18日～2月19日（延べ2日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は枚岡中学校の西である。当地点は鬼塚遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ10mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図 (1/2500)



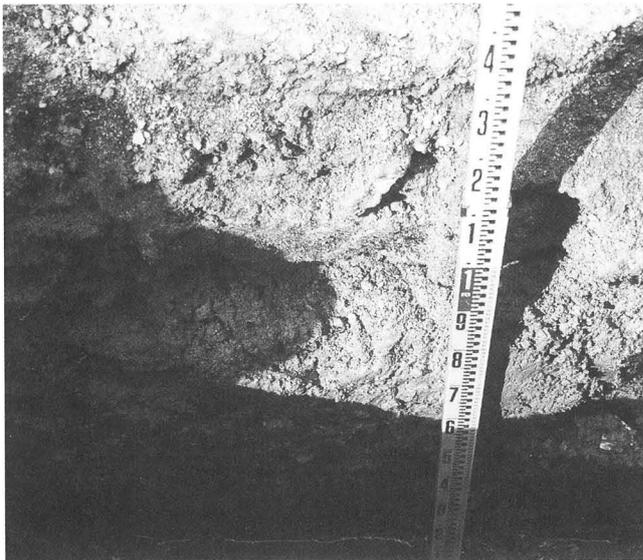
A地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-1地区土層断面



A-3地区土層断面

1. 調査の概要

A-1地区の層序

第1層 盛土。

第2層 緑黒色(10G2/1)粗粒砂混じりシルト。

第3層 青黒色(5BG2/1)シルト。

第4層 緑黒色(10G2/1)粘土。

第5層 暗緑灰色(10G3/1)

A-3地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黒色(10Y2/1)粗粒砂混じり粘土。

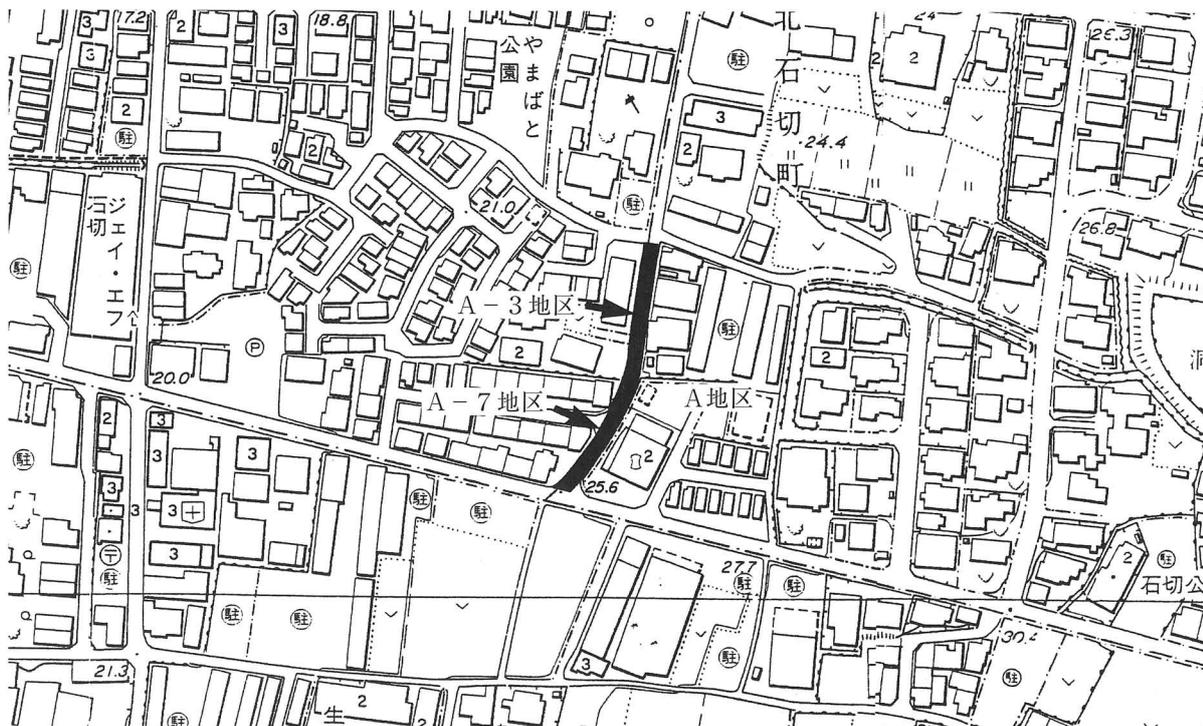
第3層 オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト質粘土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

しばがおか
第9章 芝ヶ丘遺跡の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第103工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市中石切町4丁目2010-1～2027-1番地
3	調 査 面 積	67㎡
4	調 査 期 間	平成20年7月14日～7月25日（延べ6日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は石切中学校の南東である。当地点は芝ヶ丘遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ79mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/2500)



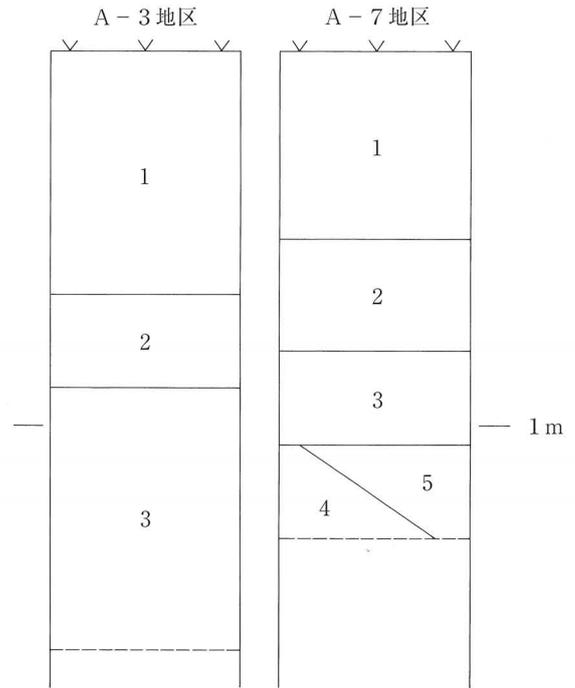
A 地区調査地遠景



A-3 地区土層断面



A-7 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-3 地区の層序

- 第1層 盛土。
- 第2層 青灰色(10G5/1)粗粒砂混じりシルト質細粒砂。
- 第3層 暗オリーブ色(2.5GY3/1)細～中粒砂混じりシルト。

A-7 地区の層序

- 第1層 盛土。
- 第2層 灰色(10Y4/1)粗粒砂混じりシルト質細粒砂。
- 第3層 オリーブ灰色(2.5 GY5/1)大～巨礫混じり細粒砂質シルト。
- 第4層 オリーブ黒色(10Y2/2)粘質シルト。
- 第5層 暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)粗粒砂混じり粘質シルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第10章 こうなみ 神並古墳群の調査

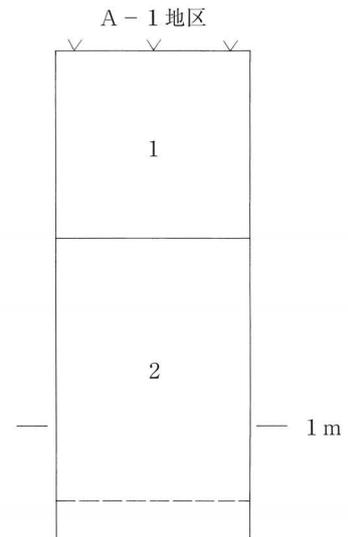
No.	名称	内容
1	事業名	平成19年度公共下水道管きょ築造工事（東石切町3丁目地区）
2	調査地点	東大阪市東石切町3丁目1086-2～1166-2番地
3	調査面積	11m ²
4	調査期間	平成20年3月21日～3月27日（延べ3日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は近鉄奈良線石切駅の南である。当地点は神並古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ13mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図（1/2500）



A 地区調査地遠景



土層断面柱状図



A 地区調査状況

1. 調査の概要

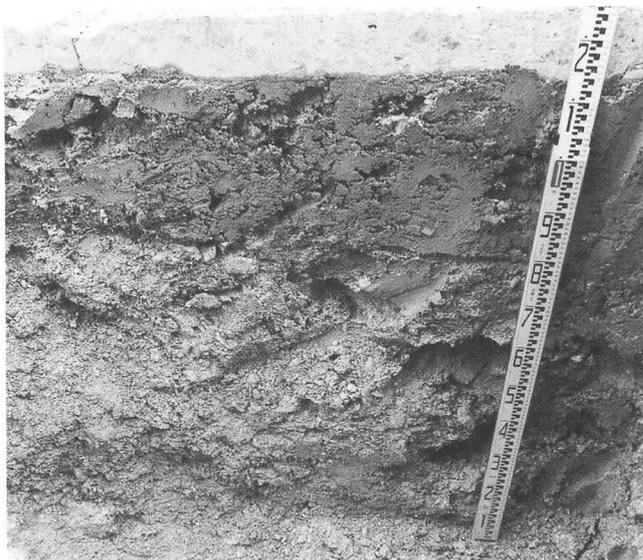
A-1 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 黄褐色(2.5Y5/3)粗粒砂混じり
粘質シルト。

2. まとめ

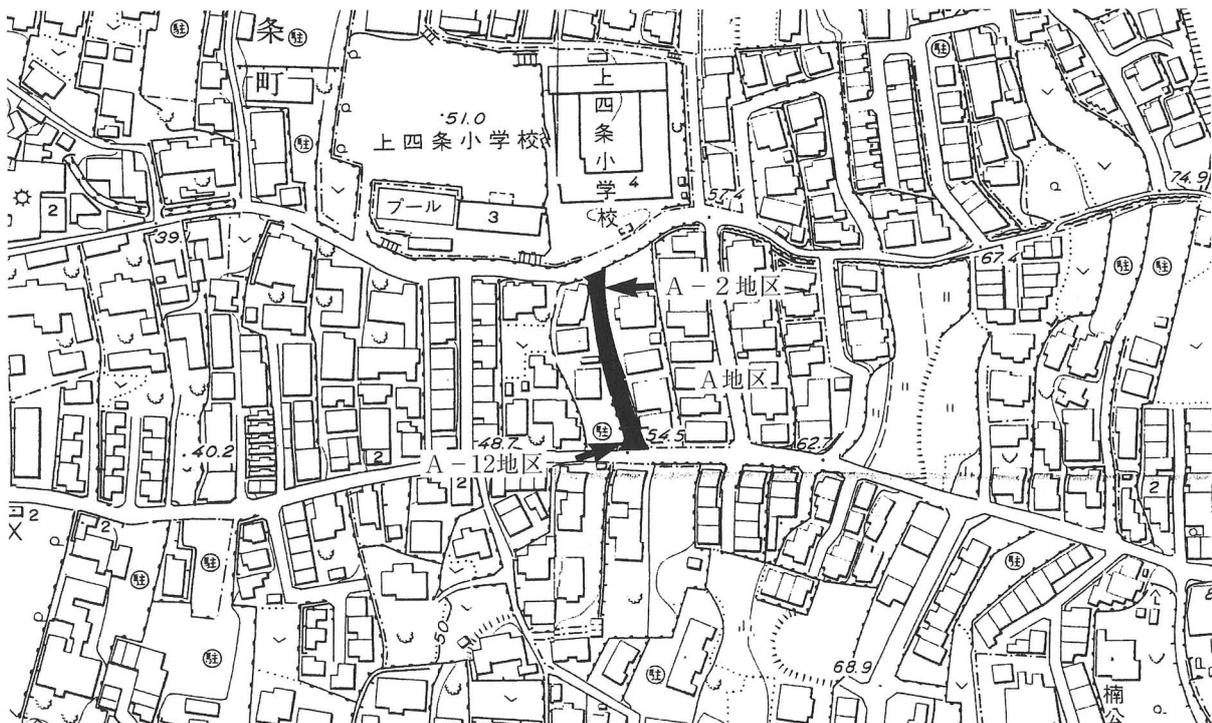
立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。



A-1 地区土層断面

はなくさやま やまはた
第11章 花草山・山畑古墳群の調査

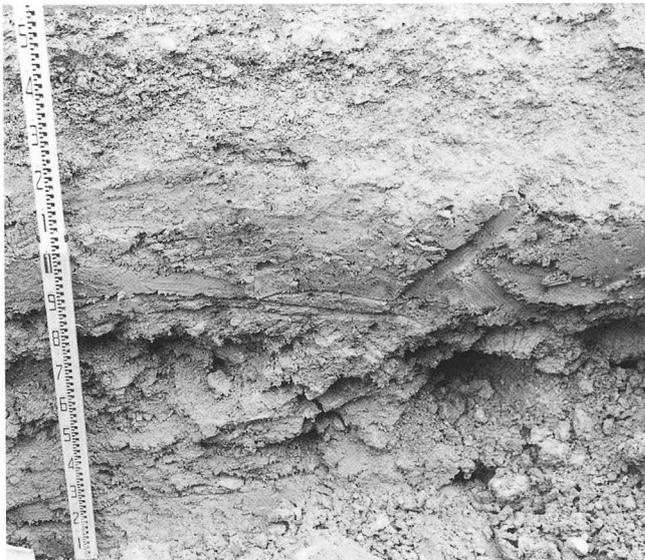
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第105工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市上四条町1290-4番地
3	調 査 面 積	102㎡
4	調 査 期 間	平成20年4月8日～5月21日（延べ19日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は上四条小学校の南である。当地点は花草山・山畑古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ121mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/2500)



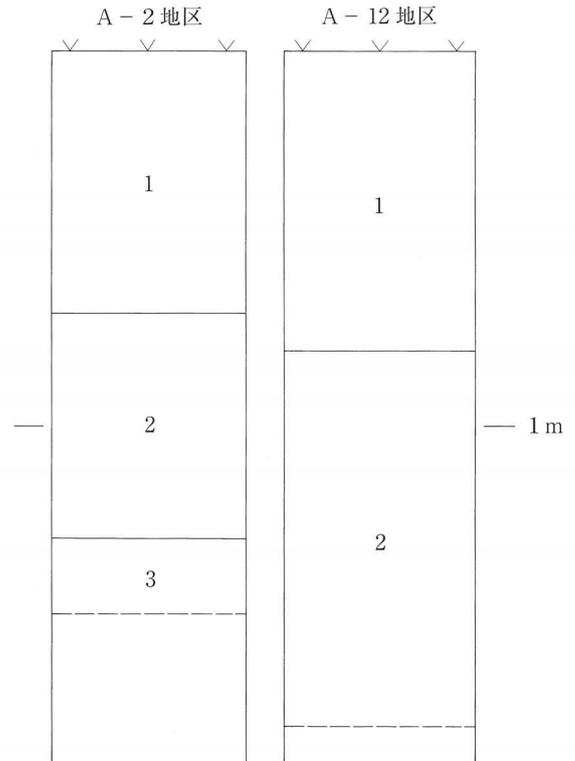
A地区調査地遠景



A-2地区調査状況



A-12地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-2地区の層序

第1層 盛土。

第2層 灰黄褐色(10YR4/2)細～中礫混じりシルト。

第3層 オリーブ黒色(5Y3/1)細粒砂まじりシルト。

A-12地区の層序

第1層 盛土。

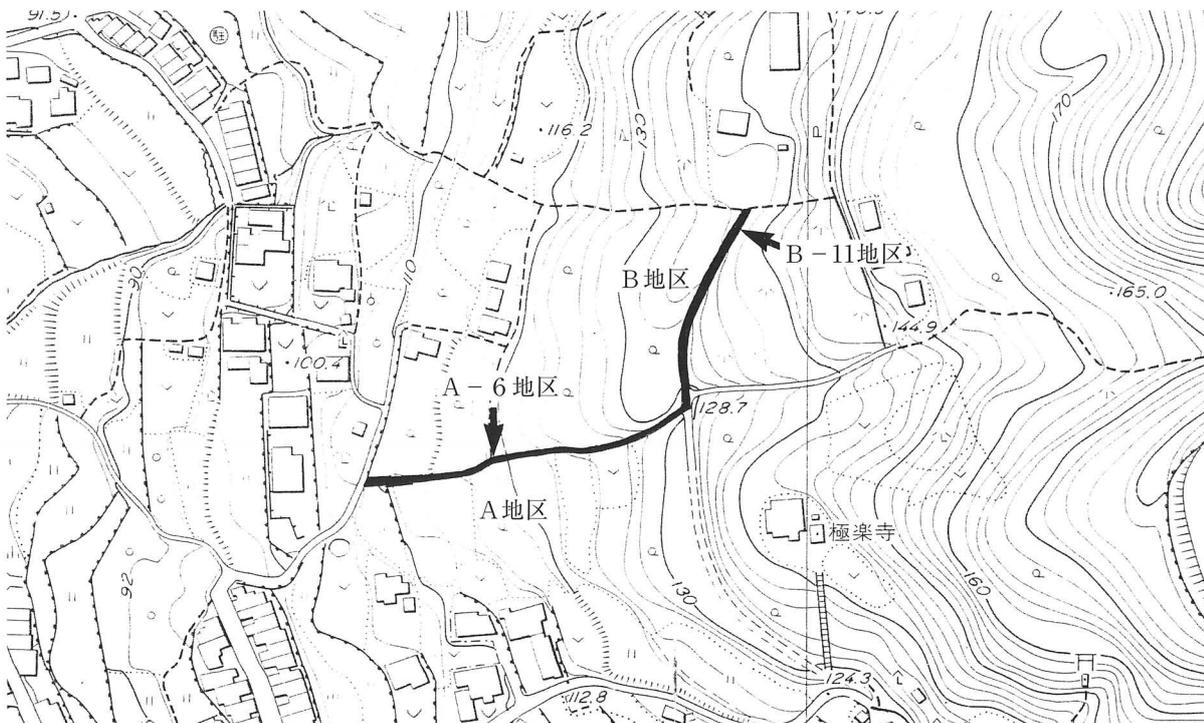
第2層 灰色(10Y4/1)中粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

はなくさやま 第12章 花草山古墳群の調査

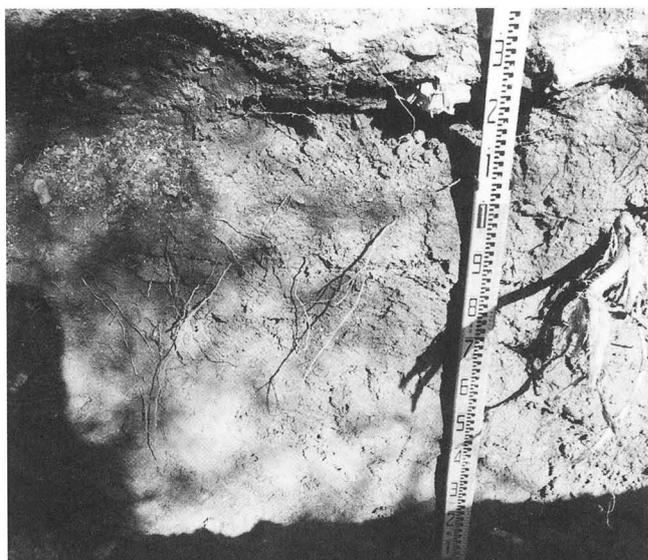
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第23工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市上四条町1399-2～1435、2096～2101番地
3	調 査 面 積	207㎡
4	調 査 期 間	平成20年3月17日～7月25日（延べ46日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は東大阪市立郷土博物館の南である。当地点は花草山古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ243mの間であり、開削工法である。



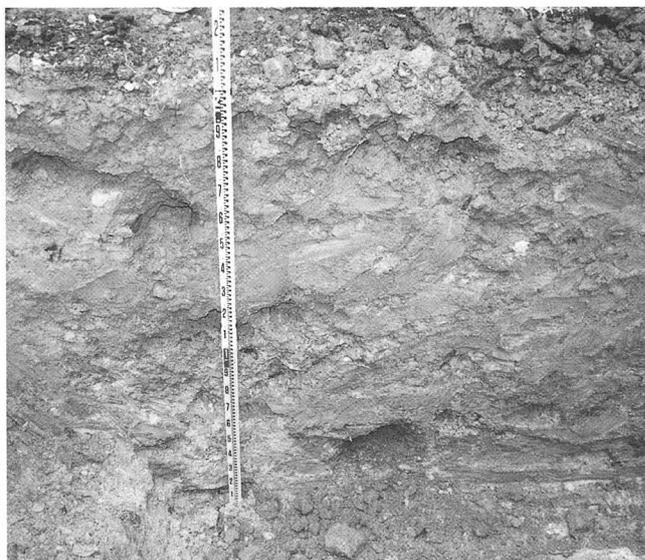
調査地点位置図 (1/2500)



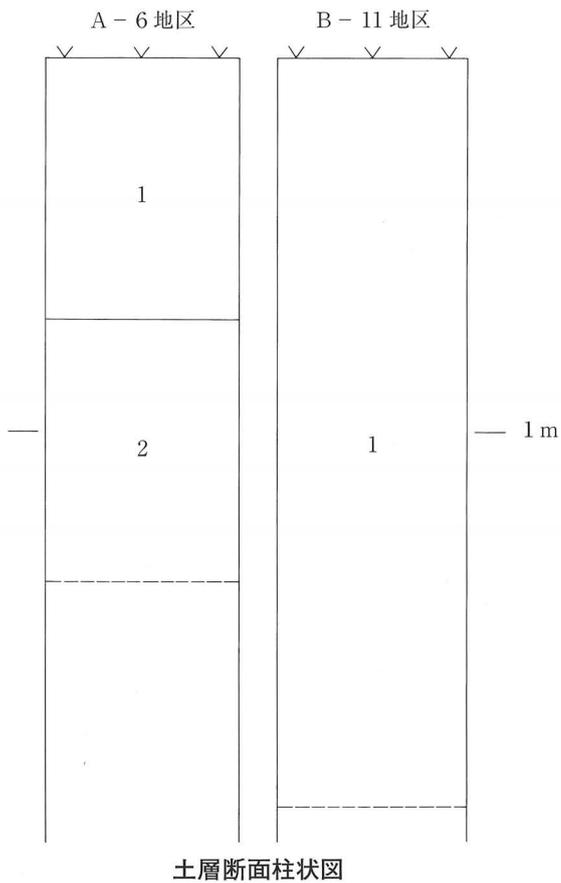
A 地区調査地遠景



A-6 地区調査状況



B-11 地区土層断面



1. 調査の概要

A-6 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 灰黄褐色(10YR4/2)シルト。

B-11地区の層序

第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

いわたきやま
第13章 岩滝山遺跡の調査

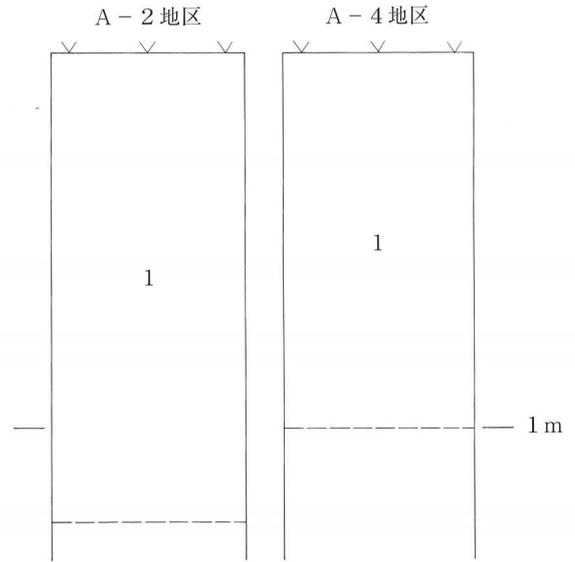
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（2-7）
2	調 査 地 点	東大阪市六万寺町 1丁目796-3～5、838-5、862-3番地
3	調 査 面 積	29m ²
4	調 査 期 間	平成20年4月14日～4月25日（延べ6日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は二本松古墳の南である。当地点は岩滝山遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ34mの間であり、開削工法である。



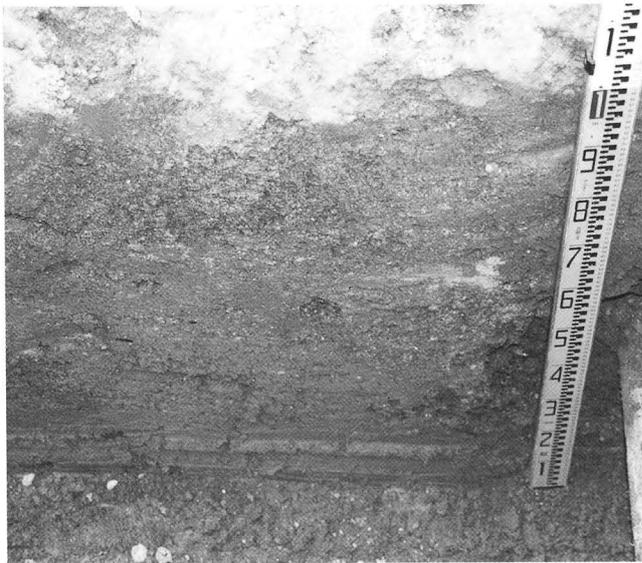
調査地点位置図（1/2500）



A地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-2地区調査状況



A-4地区土層断面

1. 調査の概要

A-2地区の層序

第1層 盛土。

A-4地区の層序

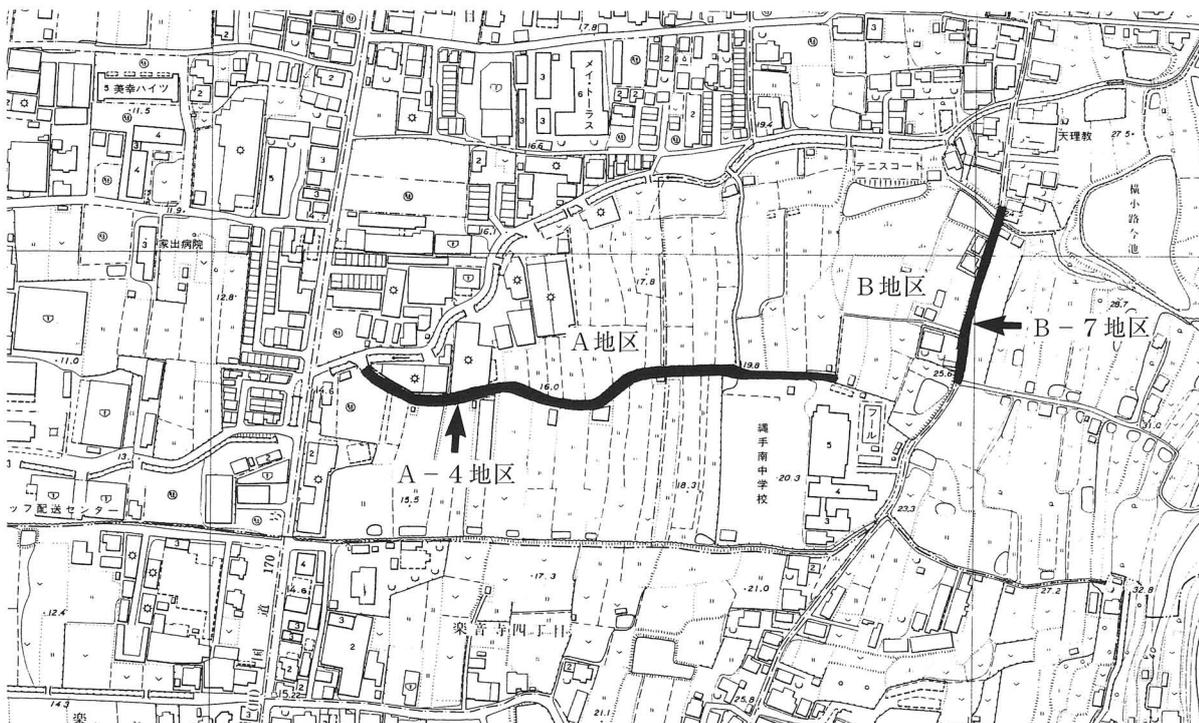
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第14章 がくおんじ にし くち ばぼがわ 楽音寺・西の口・馬場川遺跡の調査

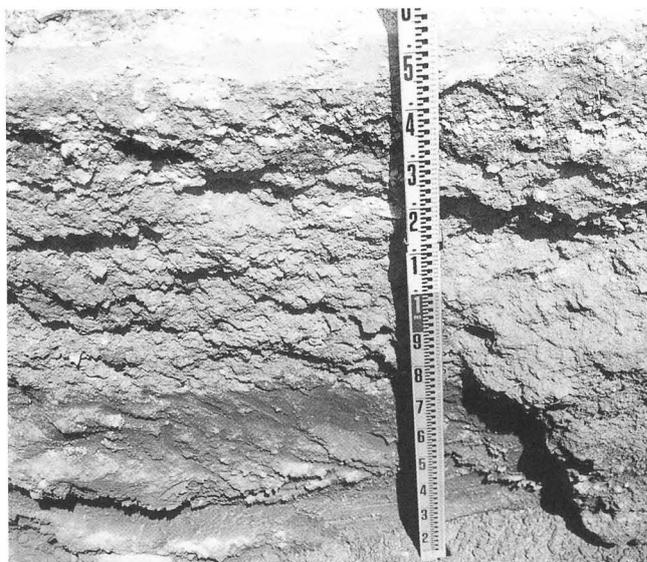
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第24工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市横小路町3丁目1517-4～横小路町4丁目1429-5番地
3	調 査 面 積	329m ²
4	調 査 期 間	平成20年5月1日～8月15日(延べ28日)
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は縄手南小学校の北東と北西である。当地点は楽音寺・西の口・馬場川遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ374mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/5000)



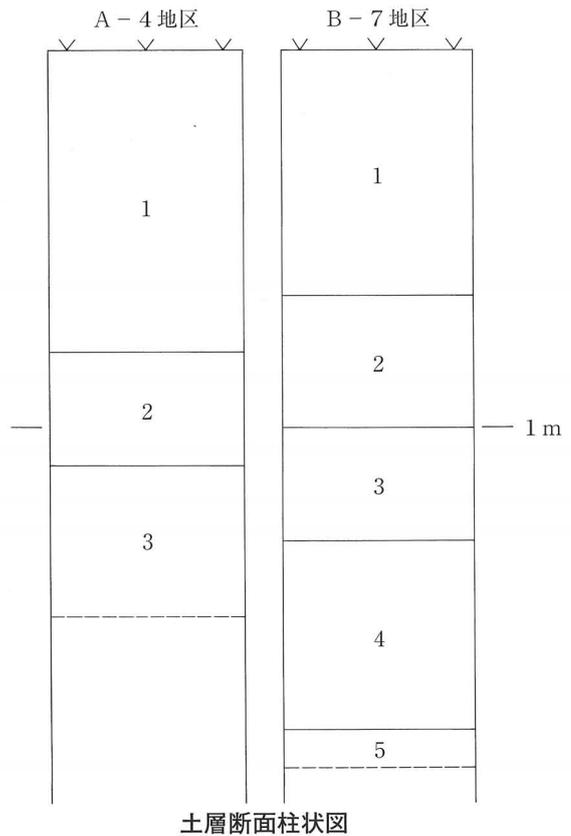
A地区調査地遠景



A-4地区調査状況



B-7地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-4地区の層序

- 第1層 盛土。
- 第2層 暗緑灰色(10G3/1)シルト。
- 第3層 灰黄褐色(10YR4/2)粗粒砂混じりシルト。

B-7地区の層序

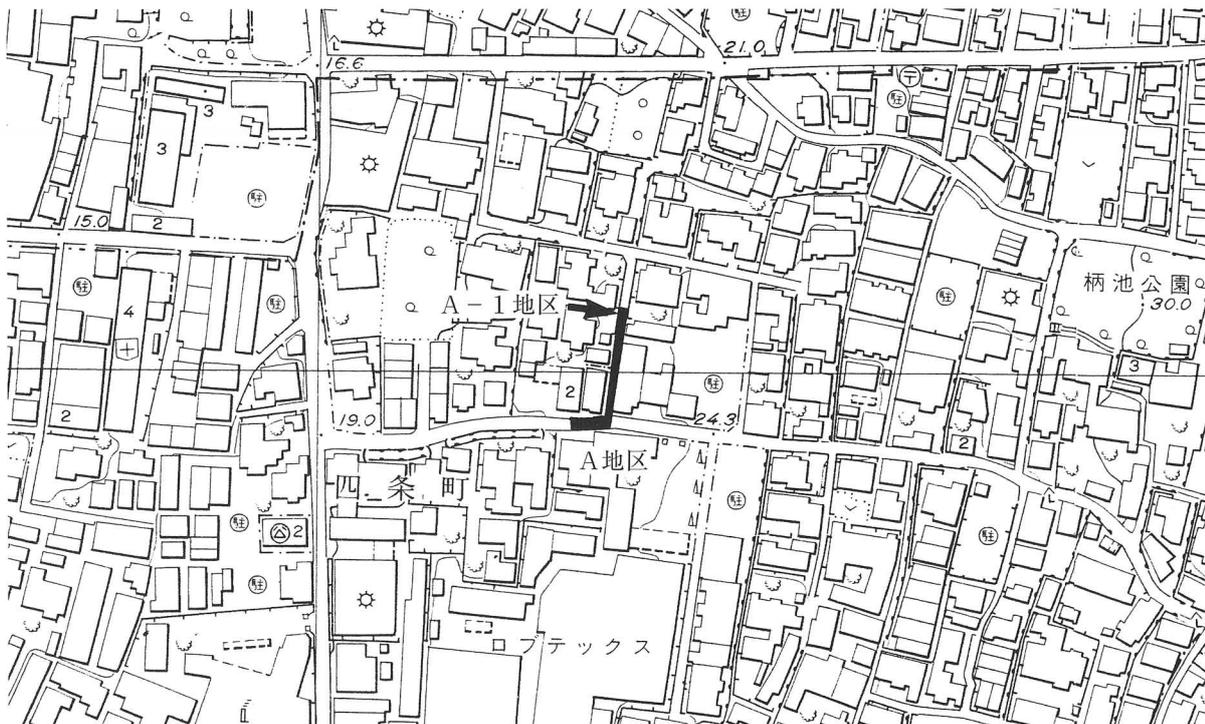
- 第1層 盛土。
- 第2層 オリーブ黒色(7.5Y3/1)粗粒砂混じりシルト質細粒砂。
- 第3層 オリーブ黒色(5Y2/2)中粒砂混じりシルト。
- 第4層 黒褐色(2.5Y3/2)細粒砂混じりシルト。
- 第5層 灰色(5Y4/1)細粒砂混じり粘土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

やまはた 第15章 山畑古墳群の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道管きょ築造工事（6-5）
2	調 査 地 点	東大阪市四条町328-1・2・5、483-4番地
3	調 査 面 積	36㎡
4	調 査 期 間	平成20年11月17日～11月19日（延べ3日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は縄手小学校の北である。当地点は山畑古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ42mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図（1/2500）



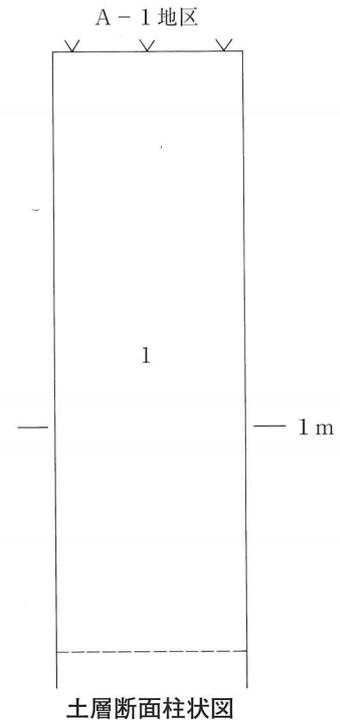
A 地区調査地遠景



A 地区調査状況



A - 1 地区土層断面



1. 調査の概要

A - 1 地区の層序

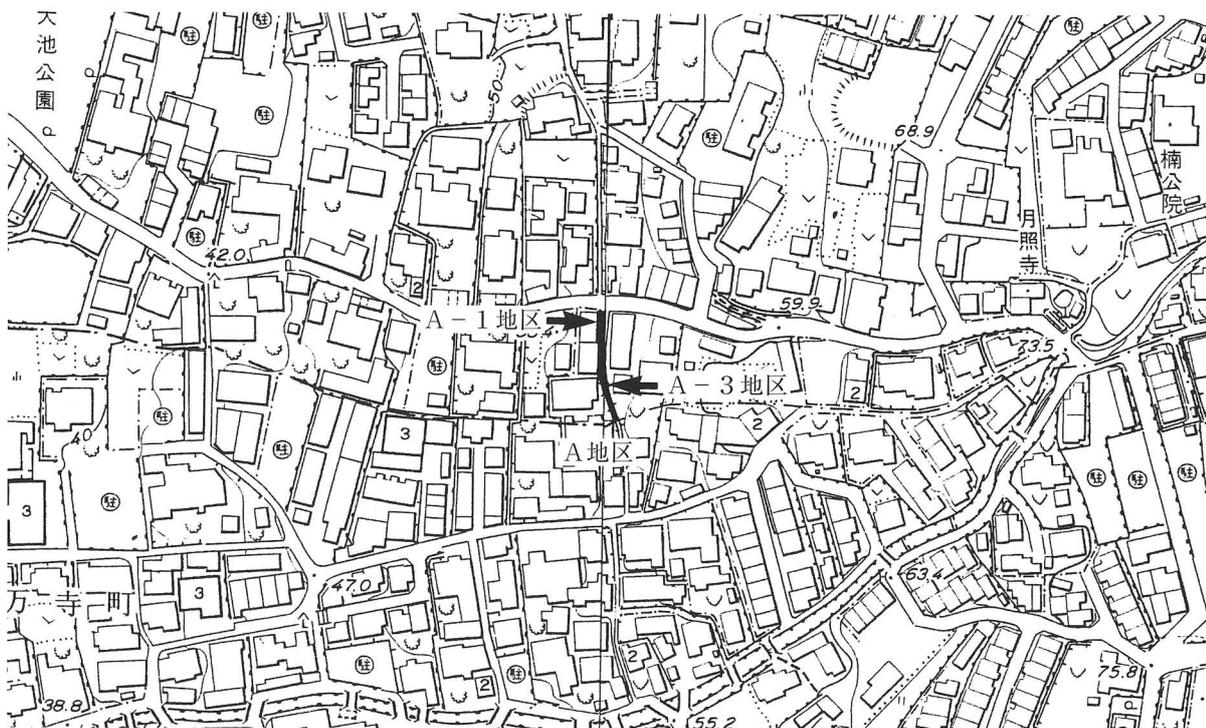
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

はなくさやま 第16章 花草山古墳群の調査

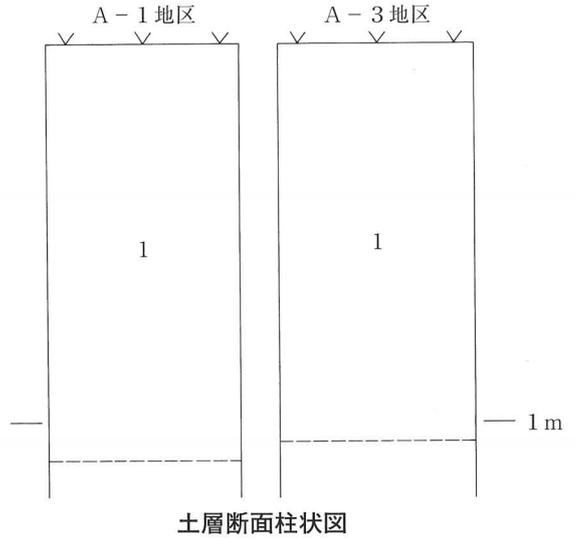
名	称	内 容
1	事業名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（3 - 4）
2	調査地点	東大阪市上四条町1142 ~ 1144
3	調査面積	31㎡
4	調査期間	平成20年9月22日～10月7日（延べ6日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は上四条小学校の南である。当地点は花草山古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ36mの間であり、開削工法である。



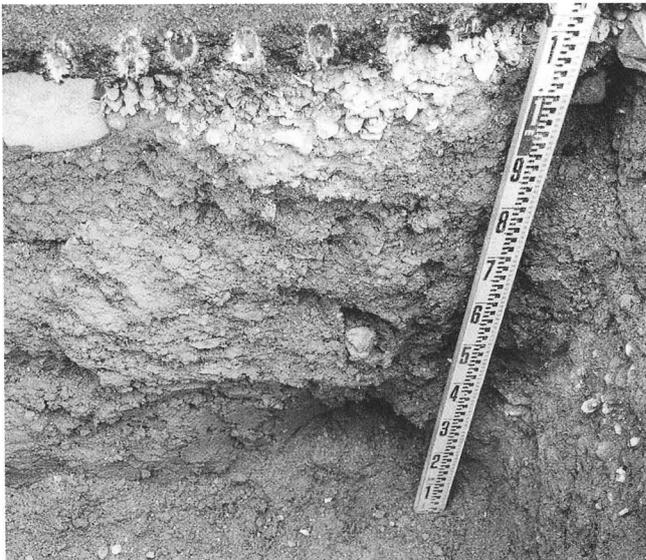
調査地点位置図（1/2500）



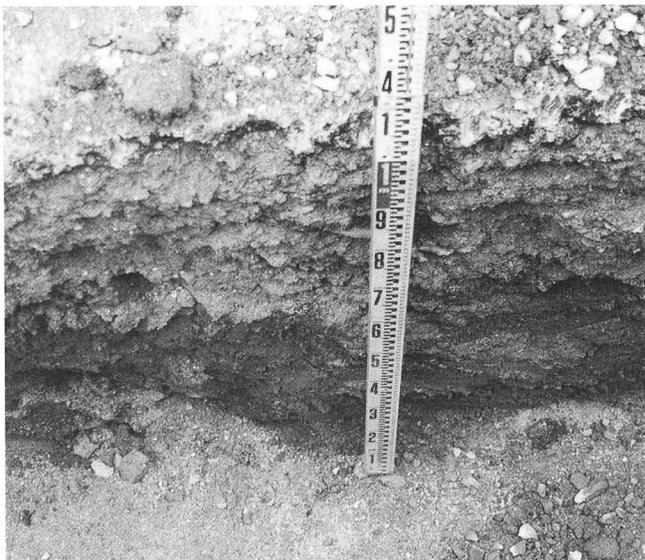
A 地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-1 地区土層断面



A-3 地区土層断面

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

A-3 地区の層序

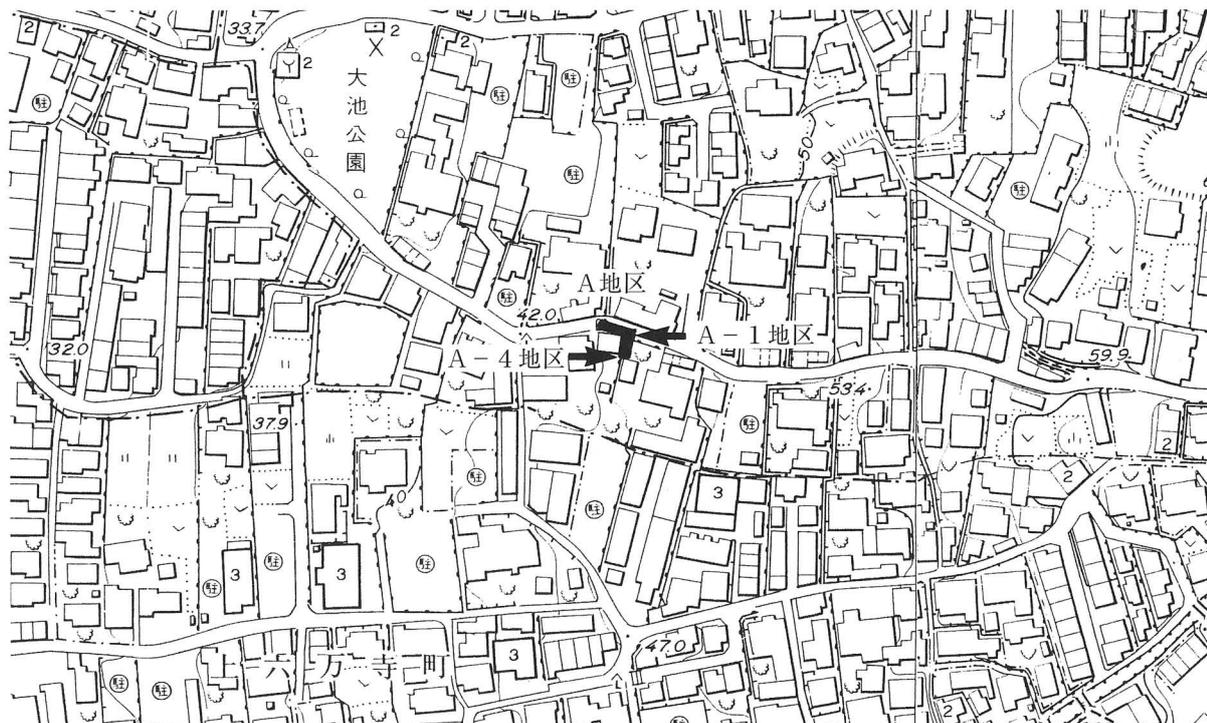
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

はなくさやま 第17章 花草山古墳群の調査

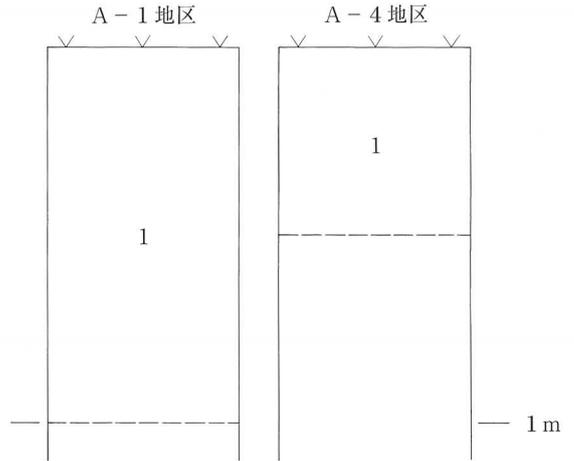
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道管きよ築造工事（5 - 6）
2	調 査 地 点	東大阪市上四条町1118、1119、1120 - 1・2 番地
3	調 査 面 積	28㎡
4	調 査 期 間	平成20年5月1日～5月15日（延べ8日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は上四条小学校の南である。当地点は花草山古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ33mの間であり、開削工法である。</p>



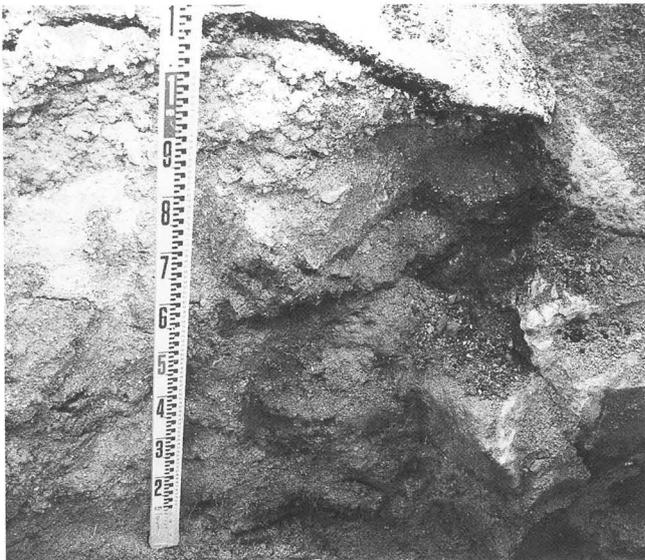
調査地点位置図（1/2500）



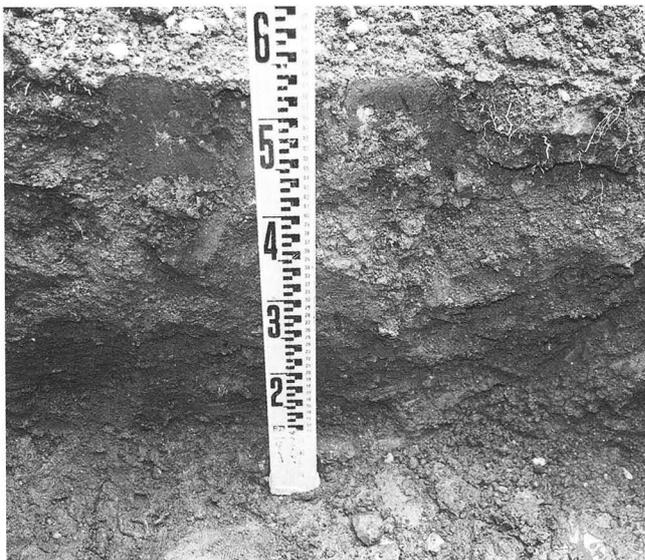
A 地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-1 地区土層断面



A-4 地区土層断面

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

A-4 地区の層序

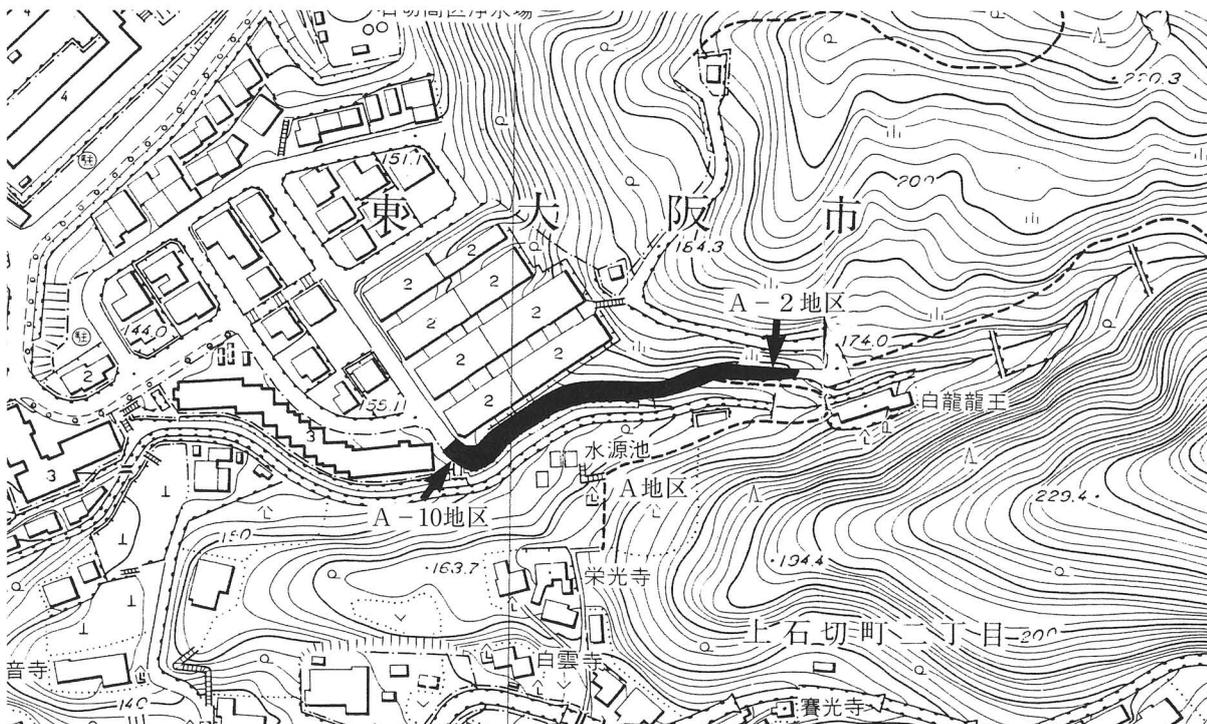
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第18章 つしだに 辻子谷古墳群の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第108工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市上石切町2丁目1426-1番地
3	調 査 面 積	101㎡
4	調 査 期 間	平成20年7月14日～8月22日（延べ17日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は石切東小学校の南東である。当地点は辻子谷古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ119mの間であり、開削工法である。



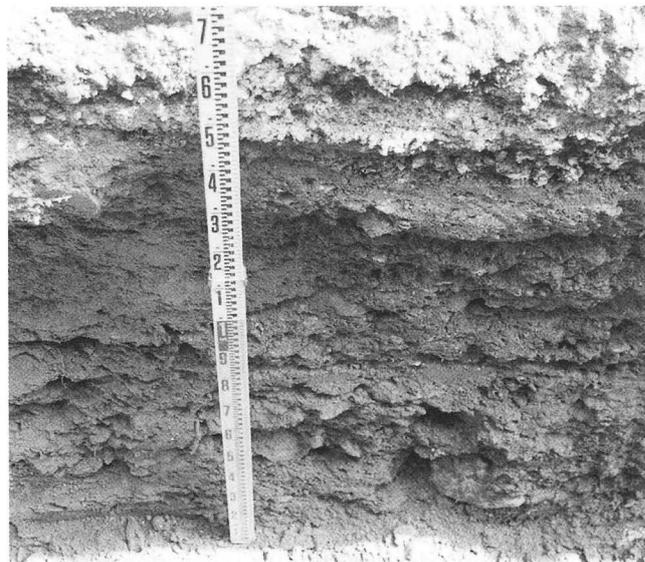
調査地点位置図 (1/2500)



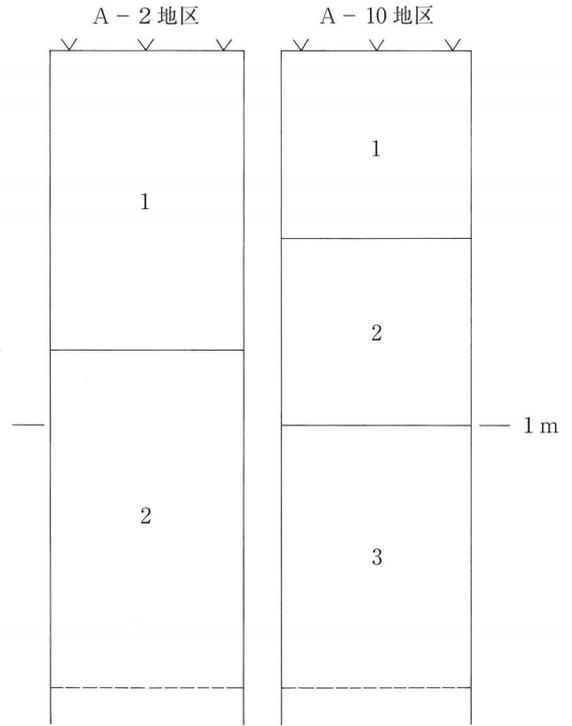
A 地区調査地遠景



A-2 地区土層断面



A-10 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-2 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 明黄褐色(10YR6/8)細～中粒砂混じりシルト。

A-10 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 におい黄褐色(10YR4/3)粗粒砂混じり細粒砂質シルト。

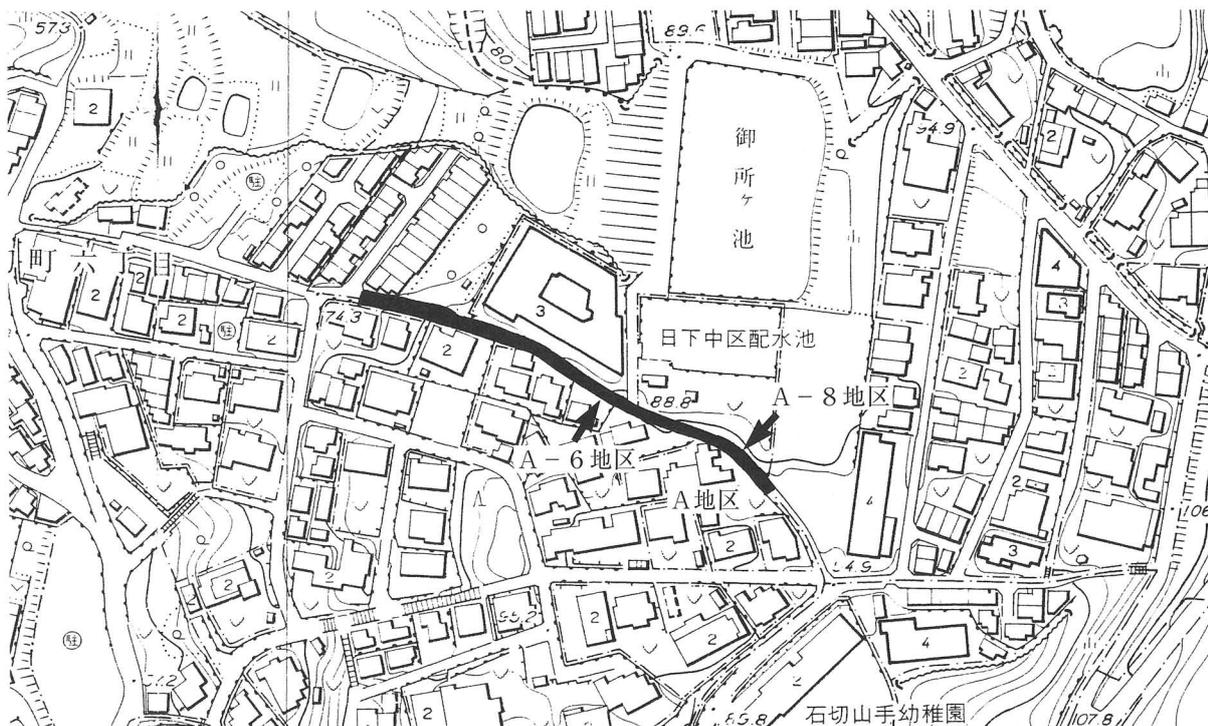
第3層 褐色(10YR4/4)細～中粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

しばぼうずやま
第19章 芝坊主山遺跡の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成19年度公共下水道第112工区管きょ築造工事
2	調 査 地 点	東大阪市東石切町 6 丁目1672 - 94番地
3	調 査 面 積	127㎡
4	調 査 期 間	平成20年 7 月14日～ 8 月22日 (延べ17日)
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は石切山手幼稚園の北である。当地点は芝坊主山遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ149mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図 (1/2500)



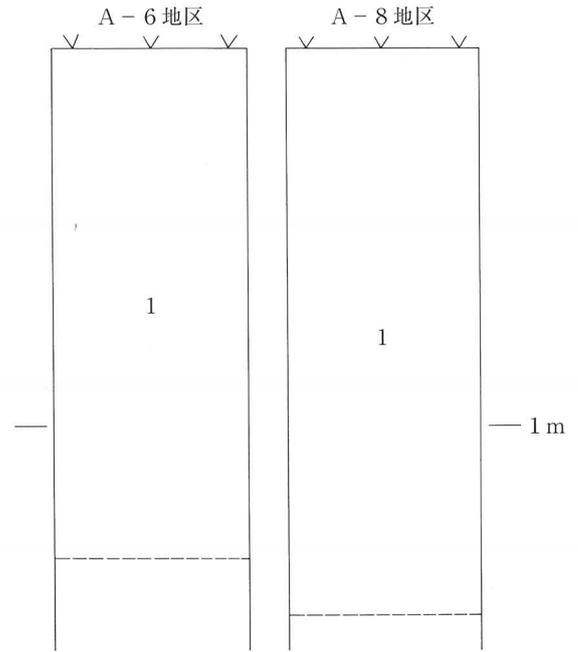
A地区調査地遠景



A地区調査状況



A-6地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-6地区の層序

第1層 盛土。

A-8地区の層序

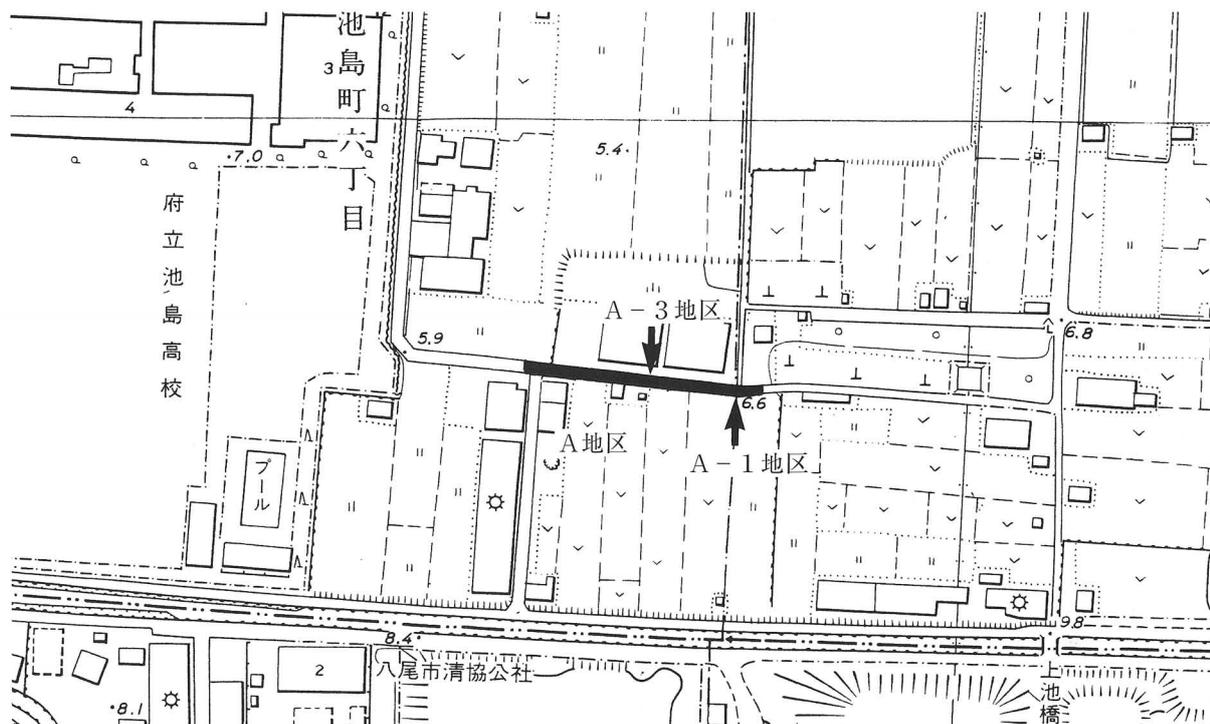
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第20章 いけしま ふくまんじ 池島・福万寺遺跡の調査

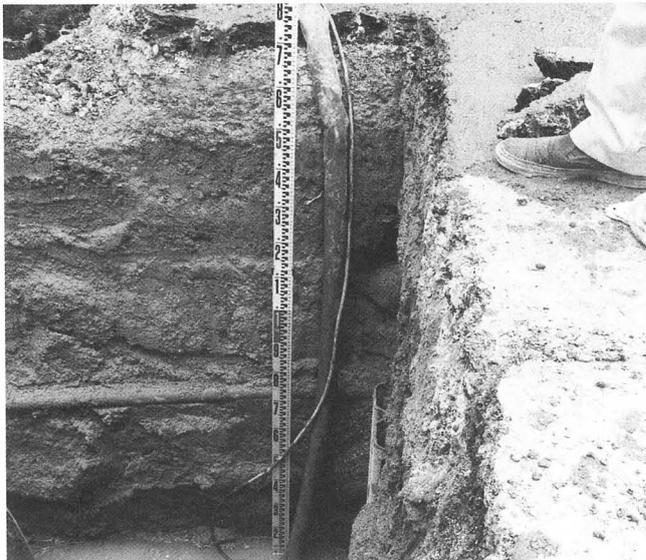
No.	名称	内容
1	事業名	平成19年度公共下水道第11工区管きょ築造工事
2	調査地点	東大阪市池島町6丁目90-1～105-3番地
3	調査面積	11㎡
4	調査期間	平成20年6月2日～6月27日（延べ11日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は池島高等学校の東である。当地点は池島・福万寺遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ21mの間であり、開削工法である。



調査地点位置図 (1/2500)



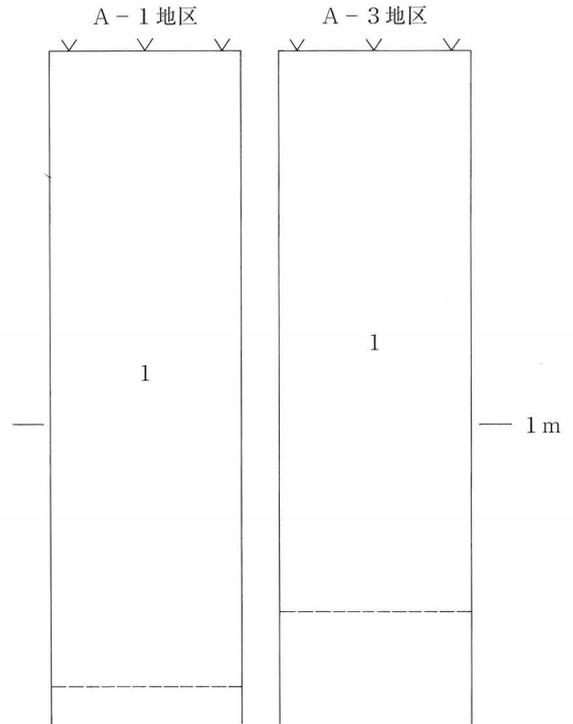
A 地区調査地遠景



A-1 地区土層断面



A-3 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

A-3 地区の層序

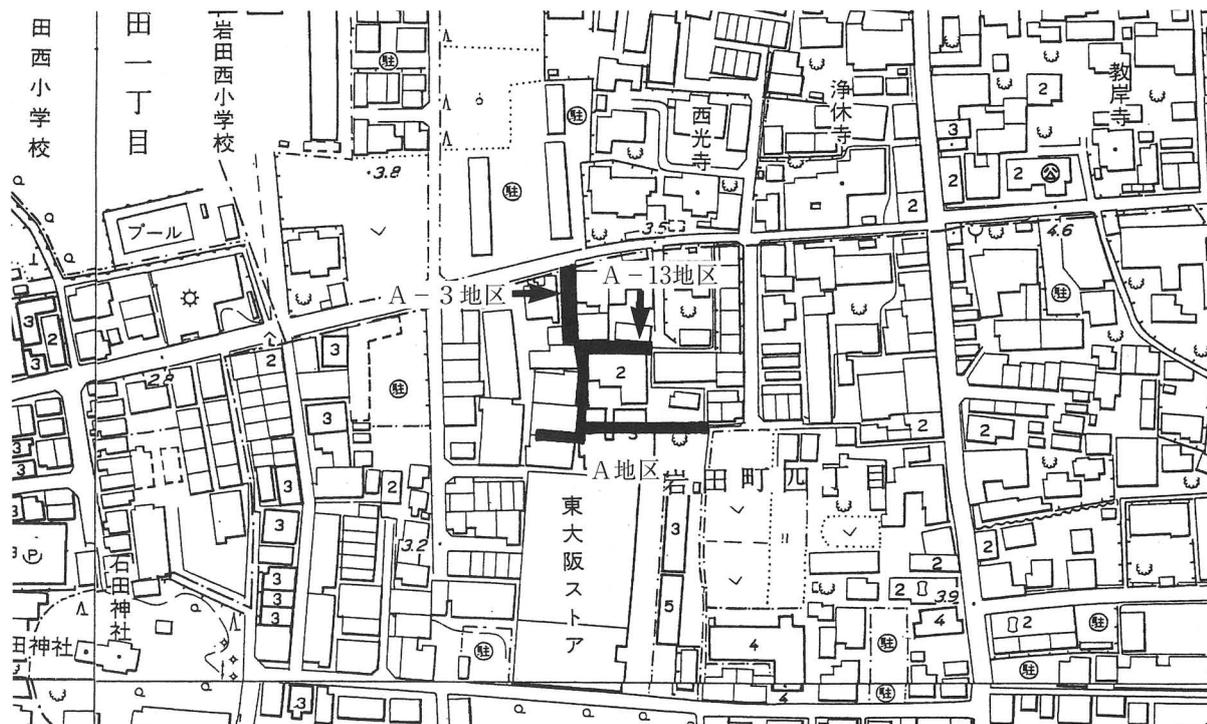
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第21章 いわた 岩田遺跡の調査

No.	名称	内容
1	事業名	平成19年度公共下水道第203工区管きょ築造工事
2	調査地点	東大阪市岩田町 4丁目526-4、530-11番地
3	調査面積	108㎡
4	調査期間	平成20年6月12日～8月11日（延べ27日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は岩田西小学校の南東である。当地点は岩田遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ139mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図 (1/2500)



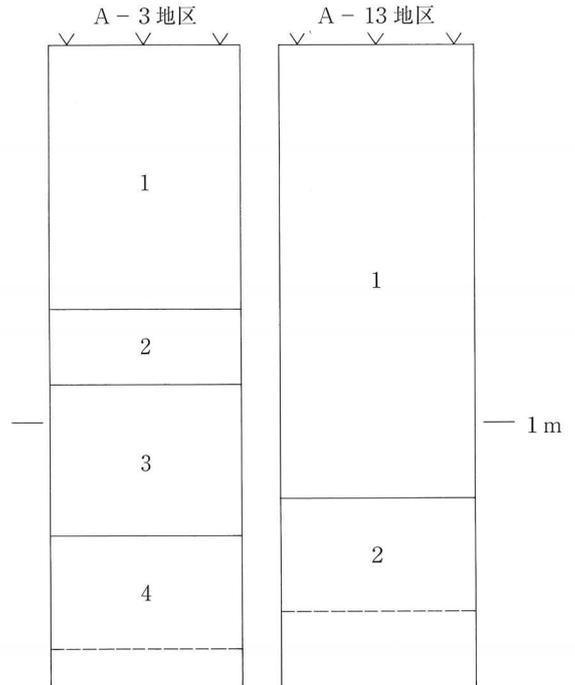
A 地区調査地遠景



A-3 地区土層断面



A-13 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A-3 地区の層序

- 第1層 盛土。
- 第2層 灰色(N4/0)細粒砂混じり粘土。
- 第3層 灰色(N5/0)シルト質粘土。
- 第4層 緑灰色(10GY5/1)細粒砂。

A-13 地区の層序

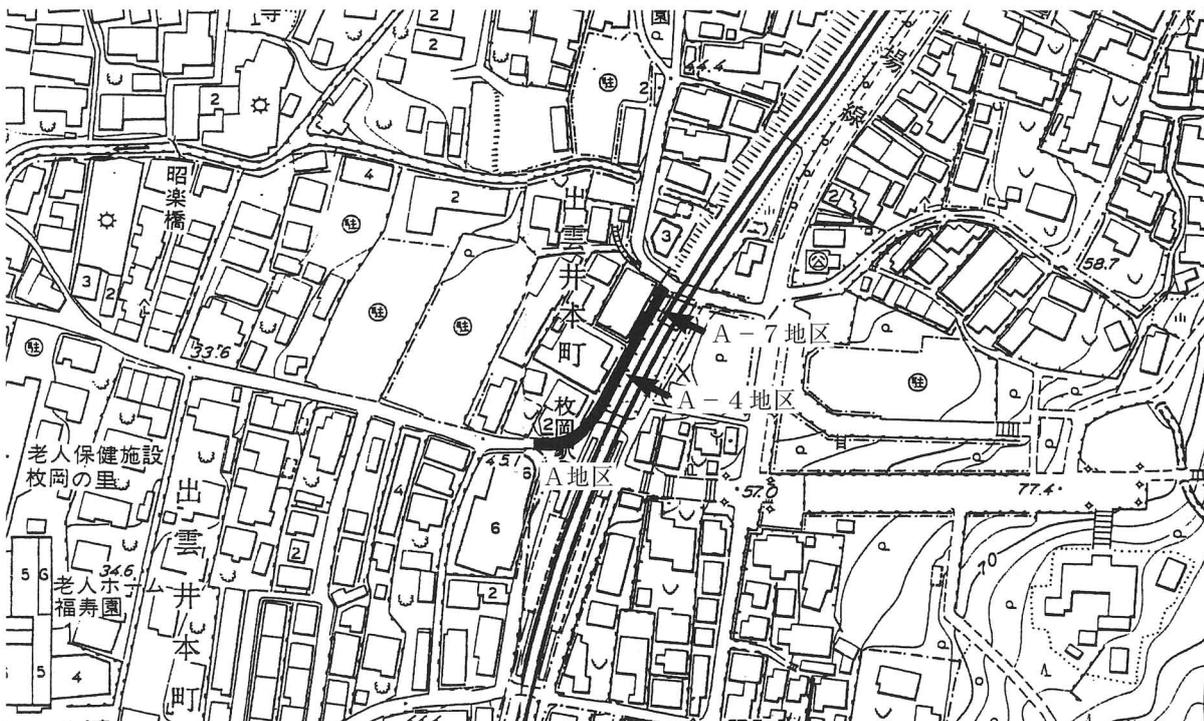
- 第1層 盛土。
- 第2層 暗緑灰色(5G3/1)細～中粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第22章 いづもい 出雲井遺跡群の調査

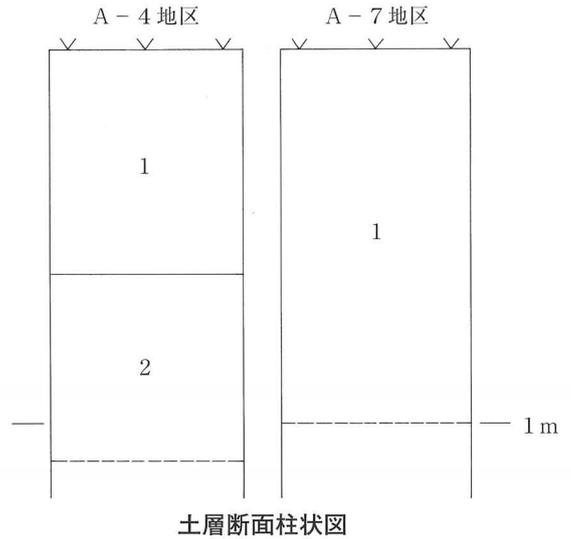
名	称	内 容
1	事業名	平成19年度公共下水道第201工区管きょ築造工事
2	調査地点	東大阪市出雲井町437-2、3、4、438番地
3	調査面積	59㎡
4	調査期間	平成20年10月21日～11月10日（延べ11日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は近鉄奈良線枚岡駅の北西である。当地点は出雲井遺跡群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ70mの間であり、開削工法である。



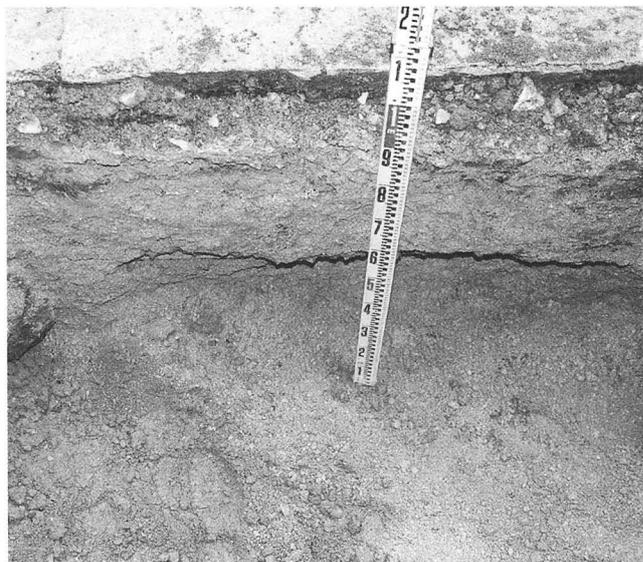
調査地点位置図（1/2500）



A地区調査地遠景



A-4地区土層断面



A-7地区土層断面

1. 調査の概要

A-4地区の層序

第1層 盛土。

第2層 暗緑灰色(5G3/1)細粒砂混じりシルト。

A-7地区の層序

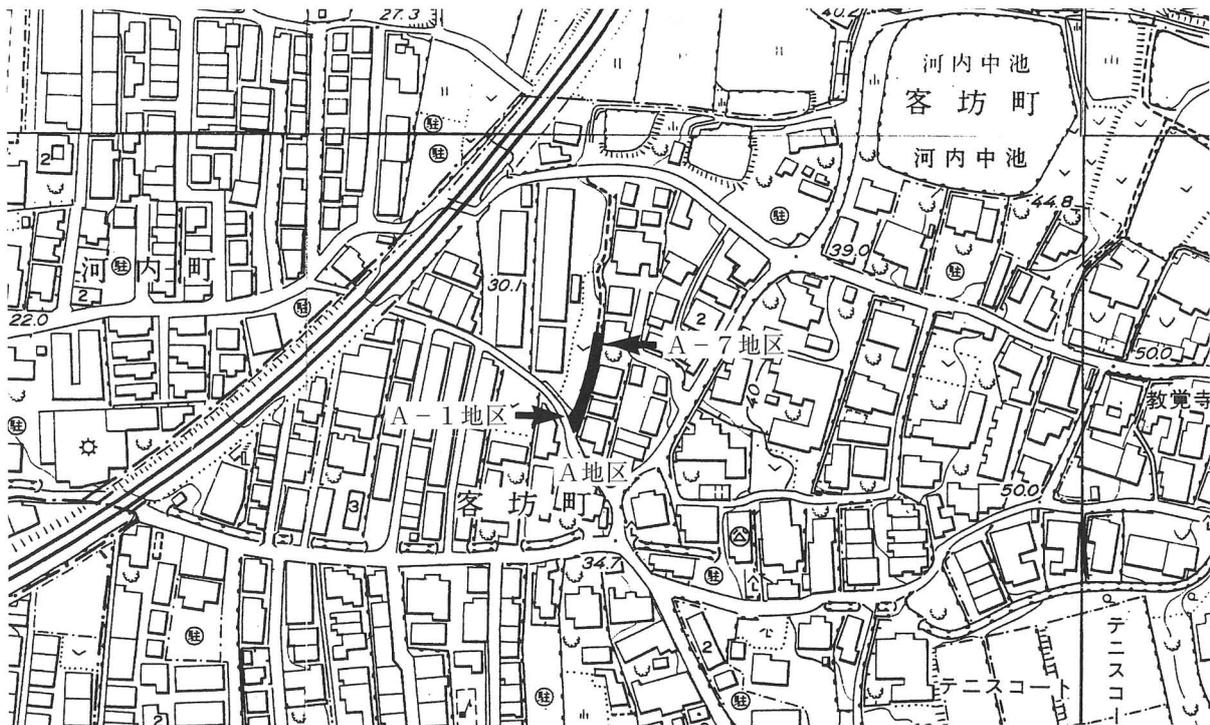
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

かわちでら 第23章 河内寺跡の調査

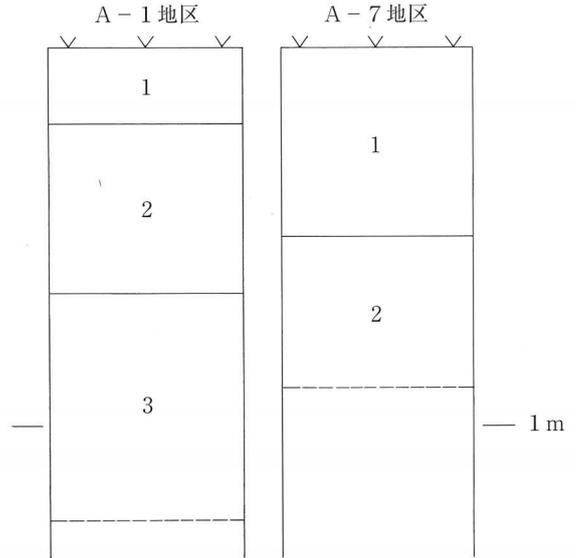
	名 称	内 容
1	事 業 名	平成20年度公共下水道管きょ築造工事（6-1）
2	調 査 地 点	東大阪市客坊町708-1、712、713番地
3	調 査 面 積	27㎡
4	調 査 期 間	平成20年9月9日～10月7日（延べ13日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は繩手東小学校の南東である。当地点は河内寺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ32mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図（1/2500）



A 地区調査地遠景



土層断面柱状図



A-1 地区土層断面



A-7 地区土層断面

1. 調査の概要

A-1 地区の層序

第1層 盛土。

第2層 オリーブ黒色(5Y3/2)細～中粒砂混じりシルト。

第3層 緑黒色(5G2/1)細～中粒砂混じりシルト。

A-7 地区の層序

第1層 盛土。

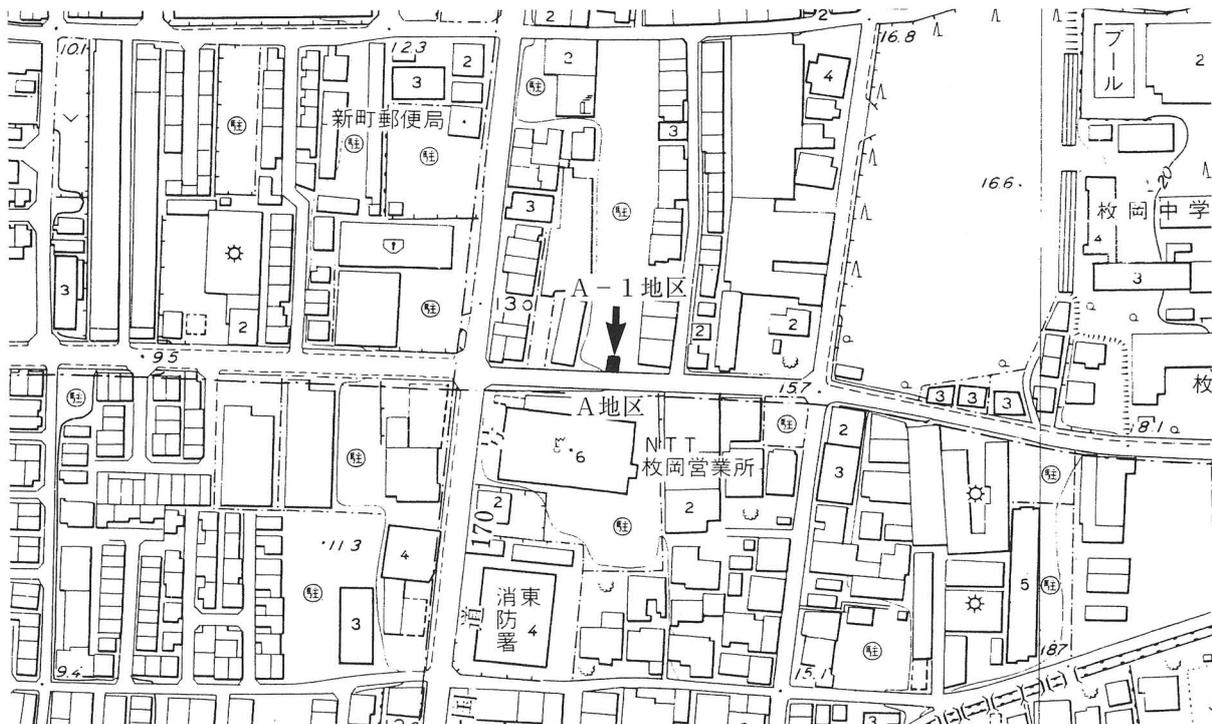
第2層 緑黒色(5G2/1)細～中粒砂混じりシルト。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

おにつか 第24章 鬼塚遺跡の調査

	名 称	内 容
1	事 業 名	平成20年度公共下水道管きよ築造工事（4-3）
2	調 査 地 点	東大阪市箱殿町277-4番地
3	調 査 面 積	2 m ²
4	調 査 期 間	平成20年10月3日（延べ1日）
5	報 告 担 当	才原
6	調 査 の 経 過	上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は東消防署の北である。当地点は鬼塚遺跡内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ2mの間であり、開削工法である。



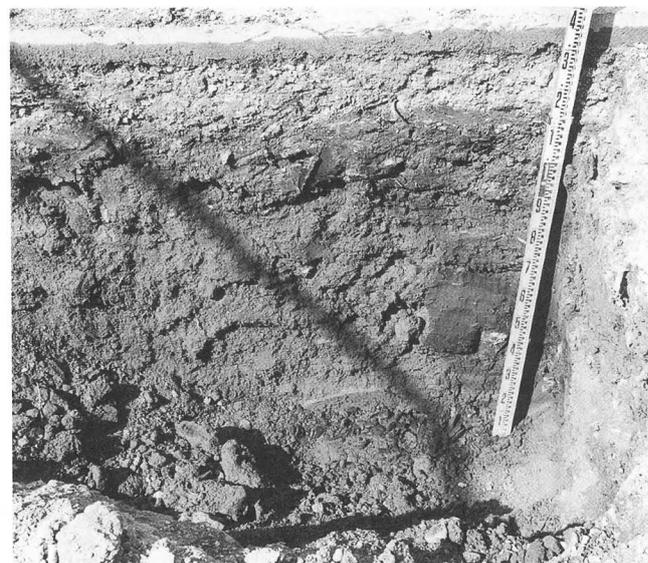
調査地点位置図 (1/2500)



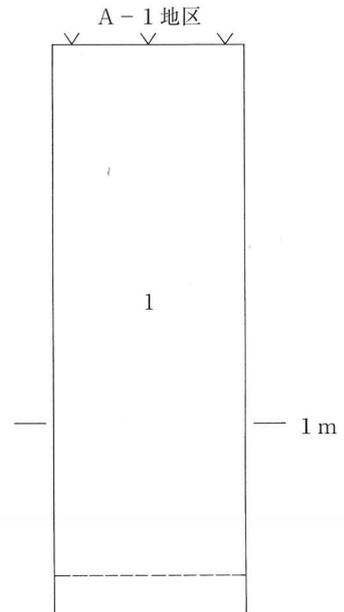
A 地区調査地遠景



A 地区調査状況



A - 1 地区土層断面



土層断面柱状図

1. 調査の概要

A - 1 地区の層序

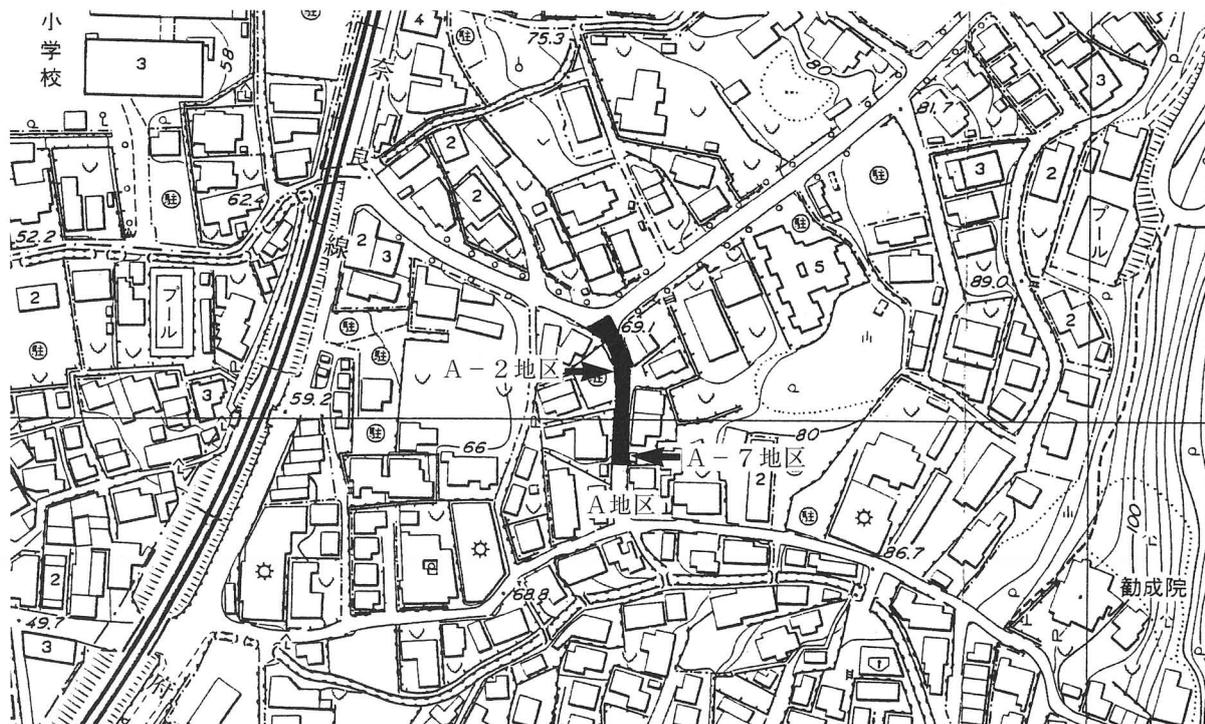
第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

第25章 やま みかん山古墳群の調査

No.	名称	内容
1	事業名	平成19年度公共下水道管きょ築造工事（6-3）
2	調査地点	東大阪市東豊浦町992-3番地他
3	調査面積	17㎡
4	調査期間	平成20年11月6日～11月27日（延べ12日）
5	報告担当	才原
6	調査の経過	<p>上記の地点で工事が実施されることになった。工事予定地は近鉄額田駅の南東である。当地点はみかん山古墳群内に位置し、下水道部と協議した結果、立会調査をおこなうことになった。工事範囲は幅約0.8～0.9mで長さ21mの間であり、開削工法である。</p>



調査地点位置図（1/2500）



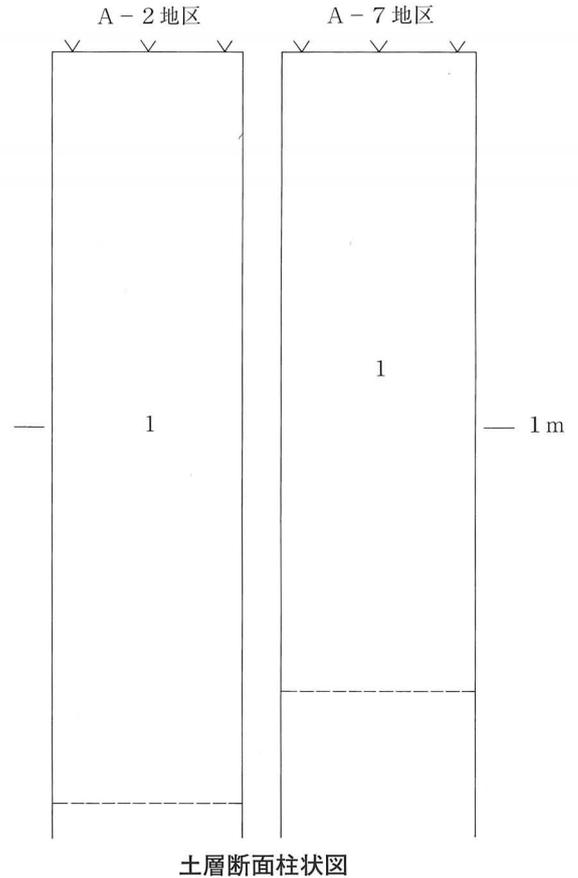
A地区調査地遠景



A-2地区土層断面



A-7地区土層断面



1. 調査の概要

A-2地区の層序

第1層 盛土。

A-7地区の層序

第1層 盛土。

2. まとめ

立会調査を実施したが、遺構・遺物は検出できなかった。

東大阪市下水道事業関係
発掘調査概要報告

－平成20年度－

平成21年3月31日

発行所 東大阪市教育委員会

印刷所 株式会社ミラテック

